

## 設置計画の概要

事項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ設置者	コクリツダイガクホクジン リョウキョウダイガク 国立大学法人 琉球大学
フリガナ大学の名称	リョウキョウダイガク 琉球大学 (University of the Ryukyus)
新設学部等において養成する人材像	<p><b>【工学科】</b></p> <p>① 本学部の理念である地域産業の要請に応え、幅広い教養と技術者倫理、コミュニケーション能力および高度で最新の専門知識を身につけ、安心・安全な社会の創出および環境保全や平和に貢献し得る、豊かな創造力と実践力を兼ね備えた高度理工系人材を養成する。</p> <p>② 工学技術者の養成を教育目的として、数学・物理学など工学系の基礎学力、幅広い教養および高度な専門知識と技術、自ら問題を発掘し解決しその成果を簡潔・明瞭に表現する能力、リーダーシップ能力、イノベーションを創出する発想力・企画力、グローバルな環境で活躍できるよう外国語の運用能力及び技術者の倫理観を修得させる。</p> <p>③ 卒業後の進路については、各教育コースの③に示す。</p> <p><b>○機械工学コース</b></p> <p>① 自動車、航空機、ロボットなどの機械やその設計・製造・メカニズムに関心があり、機械工学を学ぶ意欲があることを本コースへの受け入れ方針として掲げ、自らの知識、能力で設計・ものづくりができる基礎、これを高めていく自己学習能力を身につけた機械技術者を養成する。</p> <p>② 機械工学の各基幹分野(材料力学、流体力学、熱力学、機械力学、制御工学、機械材料学、材料加工学)を重点的に教育することで、機械を開発・維持・管理するために必要な課題を模索・解決する力を養成し、機械技術者として国内外で幅広く活躍できる能力を修得させる。</p> <p>③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、輸送関連(自動車、鉄道車両、船舶、航空機)、工作機械、材料(鉄鋼、非鉄鋼)、エネルギー(発電プラント)、電気機器、精密機械などの幅広い分野の民間企業の機械技術者として就業することが想定される。</p> <p><b>○エネルギー環境工学コース</b></p> <p>① 広く国際社会を俯瞰したエネルギー・環境問題の現状を捉えつつ、地域との関わりを意識した持続可能な社会と人との諸問題について、関連する基礎科目を自主的かつ継続的に学習することで、それら複合分野の統合マネジメント、課題の解決に寄与できる技術者を養成する。</p> <p>② エネルギー・環境問題を考慮したエネルギー源や環境負荷低減技術の開発と利用、および機械工学・電気工学におけるエネルギーの効率的な変換や制御と、環境に配慮した材料の知識、ならびに環境工学やマネジメント工学などの幅広い専門的な知識と、それら複合分野の統合マネジメント、課題の解決に寄与できる能力を修得させる。</p> <p>③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、民間企業等におけるエネルギー利用の改善・管理ならびに環境負荷低減技術等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p> <p><b>○電気システム工学コース</b></p> <p>① 電力・エネルギー利用技術とシステム制御技術を基盤とし、これらの技術を応用することにより、現代社会の基盤を形成する電気システムインフラを維持・管理していくことができる人材を養成する。</p> <p>② 電力工学、エネルギー変換工学、メカトロニクス、制御工学、システム工学、組込みシステム等、電力エネルギー工学ならびにシステム制御工学に関する専門的知識と技術を修得させる。</p> <p>③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、電力、電気設備、プラント、自動車、計測、ロボット産業、ソフトウェア開発等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p> <p><b>○電子情報通信コース</b></p> <p>① エレクトロニクス技術と情報通信技術を基盤とし、情報通信機器の小型化・ウェアラブル化ならびに省電力化等を実現する集積回路技術や新機能デバイス、高速通信技術や高度センシング技術の開発に取り組める人材を養成する。</p> <p>② 電子材料、電子デバイス、回路設計、計算機、ソフトウェア、信号処理、情報通信工学等、エレクトロニクスならびに情報通信工学に関する専門的知識と技術を修得させる。</p> <p>③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、電子デバイス、半導体、電子機器、情報通信、放送、ソフトウェア開発等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p> <p><b>○社会基盤デザインコース</b></p> <p>① 亜熱帯・島嶼・海洋性の自然環境下における都市・橋・鉄道・道路・空港・ダムなどの社会基盤デザイン(計画・設計・建設・管理)に関して、地域社会のニーズと自然環境に調和した強靱な社会基盤創成および台風や気候変動現象などのグローバルな環境防災に貢献できる専門技術者を養成する。</p> <p>② 社会基盤デザイン工学の主要専門(社会システム計画学、水圏環境工学、地盤環境工学、構造設計工学、建設材料学)の専門知識、社会基盤の設計から維持管理まで体系化された専門知識および環境防災に関する幅広い専門知識を修得させる。</p> <p>③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、国および地方の土木技術公務員、社会基盤に関する計画・設計・環境調査関連のコンサルタント、建設業、橋・鉄鋼などの製作製造メーカー、メンテナンス等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p> <p><b>○建築学コース</b></p> <p>① 自然と調和しながら人間生活の安全性・快適性・利便性を追求し、社会のニーズに対応できる豊かな創造性と幅広い知識を持つ建築技術者を育成する。地球環境を見据える国際的視野を持ち、亜熱帯地域に属する沖縄の特色ある自然環境や地域資源、文化伝統を深く理解し、地震、津波、台風等による自然災害に対処する技術を身に付けた包括的で高度な専門知識を有する人材を養成する。</p> <p>② 建築技術者として必要な専門知識と技術と共に、幅広い教養と自立性、コミュニケーション能力、社会的責任の理解、問題解決力を修得させる。</p> <p>③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、建築の設計、施工、構造、設備、行政、都市計画等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p>

<p>新設学部等において 養成する人材像</p>	<p>○<b>知能情報コース</b>  ① 知能情報コースは、コンピュータサイエンスをベースに人工知能を融合することで、21世紀の新しい情報技術を創出できる人材を養成する。  ② 進展著しい情報技術分野で持続的に成長可能な技術者にするために、専門知識とスキルのみならず、幅広い教養と、自律性、柔軟性、コミュニケーション能力、課題解決力を修得させる。  ③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、情報通信産業、他産業の情報関連部門等の幅広い分野の情報技術者として就業することが想定される。</p>
<p>既設学部等において 養成する人材像</p>	<p>【<b>機械システム工学科</b>】  ① 亜熱帯島嶼性で独特の気候、風土、文化をもつ沖縄では、研究開発、製造に関する幅広い知識を有した機械技術者が求められており、本学科では、機械工学の基礎となる科学技術に親しみ、将来、これを活かして広く社会へ貢献する自立した機械技術者を養成する。  ② 機械システム工学における基本的な学問体系を教授するとともに、島嶼県であって孤立的環境にある沖縄県の製造業を維持・発展させるのに必要な設計力、製造技術力、技術者倫理や、これらを高めていく自己学習能力と問題解決能力を修得させる。  ③ 本学科卒業後は、大学院博士前期課程への進学、公官庁・民間企業(電力、ガス、航空、製鉄などの幅広い分野)等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p> <p>【<b>電気電子工学科</b>】  ① 最新の電気電子工学に裏打ちされた高度な専門性とコミュニケーション能力を併せ持った国際社会で活躍できる優れた人材を育成します。さらに、技術者倫理規範に従って国内外の産業振興、最先端の研究開発、高度人材育成に貢献できる創造力豊かな技術者と研究者を養成する。  ② 電気電子技術者としての基礎学力、電気電子分野の広がりへの理解と専門的な課題に取り組む素地、幅広い教養と豊かな知性及び柔軟な思考力、技術者としてのコミュニケーション能力、技術者と社会との接点および技術者の倫理観および責任の理解、問題理解、課題解決能力、及び自主学習能力を修得させる。  ③ 本学科卒業後は、大学院博士前期課程への進学、電力、電気設備、半導体、電子機器、情報通信、放送、ソフトウェア開発等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p> <p>【<b>環境建設工学科</b>】  ○土木コース  ① 自然環境と調和のとれた、ゆとりある社会システムを構築するために、社会基盤施設の計画・設計・建設・管理に必要な知識を習得した人材、人文科学・自然科学・社会科学を工学によって関連づけて理解し、実社会において物事を多面的に捉え、積極的に問題を解決できる人材、及び亜熱帯島嶼という地域特性を活かした教育・研究により、人類と自然環境との共生や土木技術者の社会的責任(技術者倫理)を理解し、地域・国際社会へ積極的に貢献できる人材を養成する。  ② 多面的理解、技術者倫理、土木工学の基礎能力、土木工学の主要専門分野である構造工学、土木材料学、地盤工学、水工水理学、土木計画学の基礎および応用能力と自己継続学習能力、デザイン能力、プレゼンテーションを行う能力、外国語能力、問題解決能力を修得させる。  ③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、沖縄県庁、国の行政機関、観光産業を支える社会基盤企業(コンサルタント、ゼネコン、建設メーカー)等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p> <p>○建築コース  ① 地球環境を考え、地域の自然や文化と調和する建築や都市を創造する情熱と専門知識を有する人材、物事を人文科学・社会科学・自然科学等から多面的に把握・分析し、積極的に問題を解決できる人材および人類と自然との共生や技術者の社会的責任を理解し、地域及び国際社会へ積極的に貢献できる人材を養成する。  ② 建築技術者として必要な専門知識と技術と共に、幅広い教養と自立性、コミュニケーション能力、問題解決力を修得させる。  ③ 本コース卒業後は、大学院博士前期課程への進学、建築の設計、施工、構造、設備、行政、都市計画等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p> <p>【<b>情報工学科</b>】  ① 情報工学科では、コンピュータサイエンスおよびコンピュータエンジニアリングの基礎を修得した情報技術人材を養成する。  ② 進展著しい情報技術分野で持続的に成長可能な技術者にするために、専門知識とスキルのみならず、幅広い教養と、自律性、柔軟性、コミュニケーション能力、課題解決力を修得させる。  ③ 本学科卒業後は、大学院博士前期課程への進学、民間企業(情報通信産業、他産業の情報関連部門)等の幅広い分野の技術者として就業することが想定される。</p>
<p>新設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【<b>工学部工学科全コース(知能情報コースを除く)</b>】  ・高等学校教諭一種免許状(工業)  ① 国家資格  ② 資格取得可能  ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【<b>工学部工学科知能情報コース</b>】  ・高等学校教諭一種免許状(情報)  ① 国家資格  ② 資格取得可能  ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、情報関連科目及び教職関連科目の履修が必要</p>
<p>既設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【<b>工学部全学科(情報工学科を除く)</b>】  ・高等学校教諭一種免許状(工業)  ① 国家資格  ② 資格取得可能  ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【<b>工学部情報工学科</b>】  ・高等学校教諭一種免許状(情報)  ① 国家資格  ② 資格取得可能  ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、情報関連科目及び教職関連科目の履修が必要</p>

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員											
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上	うち教授								
新設学部等の概要	工学部 [Faculty of Engineering]	工学科 [School of Engineering]	4	350	20	1440	学士(工学)	工学関係	平成29年4月第1年次 平成31年4月第3年次	機械システム工学科	28	7									
										電気電子工学科	23	8									
										環境建設工学科	17	5									
										情報工学科	14	5									
										新規採用	12	11									
										計	94	36									
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員											
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上	うち教授								
既設学部等の概要	工学部	機械システム工学科(昼間主コース)(廃止)	4	90	3年次5	370	学士(工学)	工学関係	平成5年10月	工学科	28	7									
										退職者	3	3									
										計	31	10									
										工学部	電気電子工学科(昼間主コース)(廃止)	4	80	3年次5	330	学士(工学)	工学関係	平成5年10月	工学科	23	8
																			退職者	2	2
																			計	25	10
	工学部	環境建設工学科(土木コース、建築コース)(廃止)	4	90	3年次4	368	学士(工学)	工学関係	平成5年10月										工学科	17	5
																			退職者	5	4
																			計	22	9
										工学部	情報工学科(廃止)	4	60	3年次6	252	学士(工学)	工学関係	平成5年10月	工学科	14	5
																			退職者	2	2
																			計	16	7
	工学部	機械システム工学科(夜間主コース)(廃止)	4	20	0	80	学士(工学)	工学関係	平成5年10月										工学科(再掲)	28	7
																			退職者(再掲)	3	3
																			計	31	10
										工学部	電気電子工学科(夜間主コース)(廃止)	4	10	0	40	学士(工学)	工学関係	平成5年10月	工学科(再掲)	23	8
																			退職者(再掲)	2	2
																			計	25	10

【備考欄】

教育学部  
 学校教育教員養成課程 [定員増] (40) (平成29年4月)  
 生涯教育課程 (廃止) (△90) (平成29年4月)

農学部  
 亜熱帯生物資源科学科 [定員増] (10) (平成29年4月)

教育学研究科  
 臨床心理学専攻 (廃止) (△3) (平成29年4月)

教育課程等の概要(事前伺い)														
工学部工学科(全学共通科目)(全コース共通)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養領域	人間と哲学の知	1・2・3・4		2		○								兼2
	人間と世界	1・2・3・4		2		○								兼2
	思考の論理入門	1・2・3・4		2		○								兼1
	思考の論理	1・2・3・4		2		○								兼1
	西洋思想とインドの思想	1・2・3・4		2		○								兼2
	西洋思想と日本・中国の思想	1・2・3・4		2		○								兼1
	生き方の探究	1・2・3・4		2		○								兼1
	人間と倫理	1・2・3・4		2		○								兼1
	環境の哲学	1・2・3・4		2		○								兼2
	心の哲学	1・2・3・4		2		○								兼1
	心の科学	1・2・3・4		2		○								兼9
	人間関係論	1・2・3・4		2		○								兼8
	心の実験室	1・2・3・4		2			○							兼1
	アジアの人生観	1・2・3・4		2		○								兼1
	科学技術の倫理	1・2・3・4		2		○								兼1
	生命倫理	1・2・3・4		2		○								兼1
	「私」の哲学	1・2・3・4		2		○								兼1
	人間と宗教	1・2・3・4		2		○								兼1
	人間観と教育	1・2・3・4		2		○								兼1
	近代日本の社会と表現	1・2・3・4		2		○								兼1
	日本古典文学の世界	1・2・3・4		2		○								兼2
	文学の楽しみ	1・2・3・4		2		○								兼1
	小説の社会学	1・2・3・4		2		○								兼1
	ことばの生態	1・2・3・4		2		○								兼1
	ことばの構造と意味	1・2・3・4		2		○								兼1
	日本語のしくみ	1・2・3・4		2		○								兼1
	日本語のはたらき	1・2・3・4		2		○								兼1
	中国古典文学の世界	1・2・3・4		2		○								兼1
	20世紀の中国文学	1・2・3・4		2		○								兼2
	アメリカの文学と社会の誕生	1・2・3・4		2		○								兼1
	アメリカの文学と近代社会	1・2・3・4		2		○								兼1
	歴史を掘る	1・2・3・4		2		○								兼1
	東洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○								兼2
	西洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○								兼2
	日本の歴史と文化	1・2・3・4		2		○								兼1
	朝鮮の歴史と文化	1・2・3・4		2		○								兼2
	考古学入門	1・2・3・4		2		○								兼2
	宗教と世界	1・2・3・4		2		○								兼1
	音楽の世界	1・2・3・4		2		○								兼4
	美術の世界	1・2・3・4		2		○								兼1
	オーケストラの楽しみ	1・2・3・4		2				○						兼1
	コーラル・アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4		2				○						兼1
	楽しく学ぶギター弾き語り I	1・2・3・4		2				○						兼1
	楽しく学ぶギター弾き語り II	1・2・3・4		2				○						兼1
	ステージスタッフ総合活動	1・2・3・4		2				○						兼1
美術って何?	1・2・3・4		2		○								兼2	
美術と社会	1・2・3・4		2		○								兼1	
色彩の世界	1・2・3・4		2		○								兼1	
陶芸の世界	1・2・3・4		2		○								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文系	比較思想文化論	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語研究入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	人文系特別講義Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1
	人文系特別講義Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1
社会系科目	法と社会	1・2・3・4		2		○									兼4
	憲法概論	1・2・3・4		2		○									兼12
	現代政治の課題	1・2・3・4		2		○									兼2
	日本の政治	1・2・3・4		2		○									兼3
	戦争と平和の諸問題	1・2・3・4		2		○									兼3
	地域と生活	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代社会のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼5
	マスコミと社会	1・2・3・4		2		○									兼1
	人類文化の比較	1・2・3・4		2		○									兼7
	消費者の自立	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代経済のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼5
	経済の歴史	1・2・3・4		2		○									兼2
	現代経営のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼3
	現代流通のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	情報メディアと創造性	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代会計のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼6
	現代経済の諸問題	1・2・3・4		2		○									兼2
	大学教育論	1・2・3・4		2		○									兼1
	教育政策史	1・2・3・4		2		○									兼1
	ベンチャー起業入門	1・2・3・4		2		○									兼1
ベンチャー起業実践	1・2・3・4		2		○									兼1	
社会系特別講義Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1	
社会系特別講義Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1	
自然系科目	大気の科学	1・2・3・4		2		○									兼2
	地球の科学	1・2・3・4		2		○									兼3
	海洋の科学	1・2・3・4		2		○									兼5
	宇宙の科学	1・2・3・4		2		○									兼2
	科学の光と影	1・2・3・4		2		○									兼1
	統計と社会	1・2・3・4		2		○									兼2
	数理の構造	1・2・3・4		2		○									兼3
	数の文化	1・2・3・4		2		○									兼2
	時間と空間	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と物理学	1・2・3・4		2		○									兼2
	生活の化学	1・2・3・4		2		○									兼1
	分子の世界	1・2・3・4		2		○									兼2
	生物の生活	1・2・3・4		2		○									兼3
	生命の科学	1・2・3・4		2		○									兼4
	パースの世界	1・2・3・4		2			○								兼1
	都市環境と計画	1・2・3・4		2		○									兼1
	ランドスケープ論	1・2・3・4		2		○									兼4
	環境デザイン論	1・2・3・4		2		○									兼1
	地球環境と科学技術	1・2・3・4		2		○									兼1
	天体観測を通して学ぶ宇宙	1・2・3・4		2		○									兼1
	自然環境と土木工学	1・2・3・4		2		○									兼1
	生物資源利用とサイエンス	1・2・3・4		2		○									兼1
	食料・農村・環境概論	1・2・3・4		2		○									兼1
ヒトの健康科学	1・2・3・4		2		○									兼1	
自然系特別講義Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1	
自然系特別講義Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
健康	健康・スポーツ科学	1・2・3・4		2		○									兼5
	運動・スポーツ科学演習	1・2・3・4		2			○								兼64
総合 領域	一般 総合 科目	脳の発達と人間		2		○									兼1
		認識の仕組み	1・2・3・4	2		○									兼1
		環太平洋地域の文化	1・2・3・4	2		○									兼1
		ヨーロッパの文化と社会	1・2・3・4	2		○									兼1
		ヨーロッパの歴史と伝統	1・2・3・4	2		○									兼1
		アメリカの文化と社会	1・2・3・4	2		○									兼1
		現代青年の心とその病理	1・2・3・4	2		○									兼1
		科学と社会	1・2・3・4	2		○									兼1
		住まいの科学	1・2・3・4	2		○									兼3
		環境の保全	1・2・3・4	2		○									兼1
		環境問題	1・2・3・4	2		○									兼1
		熱帯の科学	1・2・3・4	2		○									兼1
		情報科学概論	1・2・3・4	2		○									兼1
		ヒトの科学と人間の医学	1・2・3・4	2		○									兼1
		動物実験の基礎	1・2・3・4	2		○									兼1
		生命科学入門	1・2・3・4	2		○									兼1
		大学とは何かー大学の自治と大学人の責任を考えるー	1・2・3・4	2		○									兼1
		先端情報工学概論	2・3・4	2		○									兼2
		死と哲学の知	1・2・3・4	2		○									兼1
		科学と擬似科学	1・2・3・4	2		○									兼1
		キャリア概論	1・2・3・4	2		○									兼1
		人口と食糧	1・2・3・4	2		○									兼1
		ボランティア入門	2・3・4	2		○									兼1 ※実習
		職業と人生	1・2・3・4	2		○									兼1
		囲碁の世界	1・2・3・4	2		○									兼1
		災害と安全	1・2・3・4	2		○									兼2
		生活空間のビジョン	1・2・3・4	2		○		○							兼1
		地域企業（自治体）お題解決プログラム	1・2・3・4	2		○									兼2
		若者の雇用環境	2・3	2		○									兼2
		キャリア形成入門	1・2	2		○									兼8
		ボランティア体験学習	1・2・3・4	2		○		○							兼1
		キャリアと学生生活	1・2・3・4	2		○									兼1
		環境インターンシップ	2・3・4	2		○		○							兼1
		総合環境学概論	2・3・4	2		○									兼1
		エンカレッジメントー大学の学びと未来ー	2・3・4	2		○									兼1
		生活習慣病予防および健康増進	1・2・3・4	2		○		○							兼1
		大学で何を学ぶか	1・2・3・4	2		○									兼1
		観光への扉～観光学入門	1・2・3・4	2		○									兼1
		海外文化研修A(英語圏)	2・3・4	2				○							兼1
		海外文化研修B(中国語圏)	2・3・4	2				○							兼1
海外文化研修C(スペイン語圏)	2・3・4	4				○							兼1		
海外文化研修D(フランス語圏)	2・3・4	4				○							兼1		
海外文化研修E(ドイツ語圏)	2・3・4	4				○							兼1		
環境と文学	1・2・3・4	2		○									兼1		
現代アジア論	1・2・3・4	2		○									兼1		
女性と社会	1・2・3・4	2		○									兼2		
異文化コミュニケーション入門	1・2・3・4	2		○									兼1		
キャリアデザインとジェンダー	1・2・3・4	2		○									兼1		
地域システム計画論	1・2・3・4	2		○									兼1		
情報セキュリティ概論	1・2・3・4	2		○									兼1		
環境エネルギー計画	1・2・3・4	2		○									兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般総合	環境影響評価概論	3・4・5・6		2		○									兼1
	海外職場体験	1・2・3		2				○							兼1
	総合特別講義Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1
	総合特別講義Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1
	総合特別講義Ⅲ	1・2・3・4		2		○									兼1
高学年次総合科目	現代社会の課題ー21世紀への挑戦ー	3・4・5・6		2		○									兼1
	倫理総合討論	3・4・5・6		2		○									兼2
	地震と防災	3・4・5・6		2		○									兼1
	大学と産業の振興	3・4・5・6		2		○									兼1
	総合環境論	3・4・5・6		2		○									兼1
	キャリアデザイン実践	3・4・5・6		2		○									兼1
総合領域	平和論	1・2・3・4		2		○									兼2
	核の科学	1・2・3・4		2		○									兼1
	適応の心理	1・2・3・4		2		○									兼5
	沖縄の基地と戦跡Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1
	沖縄の基地と戦跡Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1
	近代沖縄の社会と表現	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球の文学	1・2・3・4		2		○									兼2
	地域の科学	1・2・3・4		2		○									兼1
	地域文化論	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球の自然	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球の自然保護	1・2・3・4		2		○									兼1
	沖縄のサンゴ礁	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球弧の自然誌	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球の地理	1・2・3・4		2		○									兼3
	沖縄の農業・農村と農地水環境	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばと文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代の国際関係	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球アジア研究入門	1・2・3・4		2		○									兼3
	移民論	1・2・3・4		2		○									兼1
	沖縄の政治と社会	1・2・3・4		2		○									兼2
	三線と島唄	1・2		2		○									兼1 ※演習
	うちなーぐちあしび	1・2・3・4		2		○									兼1
	亜熱帯ー西表の自然	1・2・3・4		2		○									兼1
	沖縄の学力と教育	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球語入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球語入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1
	沖縄の染めと織り	1・2・3・4		2		○									兼1
	沖縄の歴史入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球学入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	琉球の自然と人	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代沖縄史	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代沖縄地域論	1・2・3・4		2		○									兼1
地域課題フィールドワーク演習	1・2・3		2				○							兼1	
琉大特色特別講義Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1	
琉大特色特別講義Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1	
琉大特色特別講義Ⅲ	1・2・3・4		2		○									兼1	
基幹領域	情報科学演習	1・2・3・4		2				○							兼42
	日本語表現法入門	1・2・3・4	2			○									兼13
	大学英語	1・2・3・4	4			○									兼48 ※演習
	英語講読演習 中級	1・2・3・4		2		○									兼41 ※演習
	英語講読演習 上級	1・2・3・4		2		○									兼16 ※演習
	英会話演習 中級	1・2・3・4		2		○									兼9 ※演習

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基幹領域 外国語科目	英会話演習 上級	1・2・3・4		2		○								兼3 ※演習
	英作文演習 中級	1・2・3・4		2		○								兼7 ※演習
	英作文演習 上級	1・2・3・4		2		○								兼1 ※演習
	英語プレゼンテーション演習 中級	1・2・3・4		2		○								兼10 ※演習
	英語プレゼンテーション演習 上級	1・2・3・4		2		○								兼1 ※演習
	TOEIC演習	1・2・3・4		2		○								兼6 ※演習
	TOEFL演習	1・2・3・4		2		○								兼7 ※演習
	英検準1級演習	1・2・3・4		2		○								兼2 ※演習
	特定英語課題演習Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼1 ※演習
	特定英語課題演習Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼1 ※演習
	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼5
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼6
	ドイツ語入門Ⅲ	2・3・4		2		○								兼2
	ドイツ語入門Ⅳ	2・3・4		2		○								兼2
	ドイツ語会話入門Ⅰ	2・3・4		2		○								兼1
	ドイツ語会話入門Ⅱ	2・3・4		2		○								兼1
	インテンシブドイツ語Ⅰ	1・2・3・4		4		○								兼1
	インテンシブドイツ語Ⅱ	1・2・3・4		4		○								兼1
	インテンシブドイツ語Ⅲ	2・3・4		2		○								兼1
	インテンシブドイツ語Ⅳ	2・3・4		2		○								兼1
	ドイツ語圏文化入門	2・3・4		2		○								兼1
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼4
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼4
	フランス語入門Ⅲ	1・2・3・4		2		○								兼1
	フランス語入門Ⅳ	1・2・3・4		2		○								兼1
	フランス語会話入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼1
	フランス語会話入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼1
	インテンシブフランス語Ⅰ	1・2・3・4		4		○								兼2
	インテンシブフランス語Ⅱ	1・2・3・4		4		○								兼1
	インテンシブフランス語Ⅲ	1・2・3・4		2		○								兼1
	インテンシブフランス語Ⅳ	1・2・3・4		2		○								兼1
	フランス語圏文化入門	2・3・4		2		○								兼1
	スペイン語入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼15
	スペイン語入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼14
	スペイン語入門Ⅲ	2・3・4		2		○								兼2
	スペイン語入門Ⅳ	2・3・4		2		○								兼2
	スペイン語会話入門Ⅰ	2・3・4		2		○								兼1
	スペイン語会話入門Ⅱ	2・3・4		2		○								兼1
	インテンシブスペイン語Ⅰ	1・2・3・4		4		○								兼1
	インテンシブスペイン語Ⅱ	1・2・3・4		4		○								兼1
インテンシブスペイン語Ⅲ	2・3・4		2		○								兼2	
インテンシブスペイン語Ⅳ	2・3・4		2		○								兼1	
スペイン語圏文化入門	2・3・4		2		○								兼1	
中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4		4				○						兼13	
中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4		4				○						兼7	
中国語中級	2・3・4		4				○						兼1	
中国語講読	2・3・4		2		○								兼2	
中国語演習	2・3・4		2		○								兼1	
中国語上級	3・4		2		○								兼1	
中国語特演	3・4		2		○								兼1	
中国語会話	2・3・4		2		○								兼1	
時事中国語	2・3・4		2		○								兼1	
中国語作文	3・4		2		○								兼1	



## 教育課程等の概要(事前伺い)

## 工学部工学科(機械工学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	別紙のとおり (4頁～9頁)														
共通教育科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○									兼1
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○									兼1
	微分積分学入門I	1前		2		○									兼1
	微分積分学入門II	1後		2		○									兼1
	物理学I	1前	2			○									兼1
	物理学II	1後	2			○									兼1
	物理学入門I	1前		2		○									兼1
	物理学入門II	1後		2		○									兼1
	物理学実験	1	1					○							兼1
	化学I	1前			2	○									兼1
	化学II	1後			2	○									兼1
	化学入門I	1	2			○									兼1
	化学入門II	1・2			2	○									兼1
	化学実験	1後			1			○							兼1
小計(14科目)		—	11	8	7		—		0	0	0	0	0	兼14	
専門教育科目	基礎数学I	1前			1		○								兼1
	基礎数学II	1後			1		○								兼1
	工業数学I	1前	2				○			1					
	工業数学II	1後	2				○		1						
	工業数学III	2前	2				○		1						
	工業数学IV	2後		2			○			1					
	確率及び統計	1・2後	2				○		1						
	キャリアデザイン入門	1前	1				○		3	4					
	工学基礎演習	1前	2				○		6	6		5			
	キャリアデザイン	3前	2				○		1						兼1
	技術者の倫理	3	2				○		3						
	エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		6	6		5			
	プログラミングI	1・2後	2				○			1					
	プログラミングII	2・3前		2			○			1					
	技術英語I	3前		2				○	1						兼1
	技術英語II	3後		2				○	1						兼1
	技術英語III	4前		2				○	1						兼1
	知的財産権	3・4前		2				○							兼1
	品質管理	3・4前		2				○	1						
	経営工学概論	3・4後		2				○							兼1
	Frontiers of Engineering	3・4後		2				○	3	4					オムニバス
	産業社会学原論I	3・4前		2				○							兼7
	産業社会学原論II	3・4後		2				○							オムニバス
	地域課題解決実践演習	1・2・3・4		2				○	3	2		2			集中
地域創生論	3前		2				○	3	4					集中	
国際協力論	3後		2				○	3	4					集中	
インターンシップI	2・3・4		1				○		1					集中	
インターンシップII	2・3・4		1				○		1					集中	
インターンシップIII	2・3・4		2				○		1					集中	
国際インターンシップI	3・4		1				○	1						集中	
国際インターンシップII	3・4		2				○	1						集中	



コース専門科目	機械工学特別講義Ⅱ	2・3・4		2		○						兼1	集中	
	機械工学特別講義Ⅲ	2・3・4		2		○						兼1	集中	
	機械工学特別講義Ⅳ	2・3・4		2		○						兼1	集中	
	機械工学特別講義Ⅴ	2・3・4		1		○						兼1	集中	
	機械工学特別講義Ⅵ	2・3・4		1		○						兼1	集中	
	機械工学特別講義Ⅶ	2・3・4		1		○						兼1	集中	
	機械工学特別講義Ⅷ	2・3・4		1		○						兼1	集中	
	小計 (51科目)	—	39	54	0	—		6	6	0	5	0	兼8	
	工学融合科目 (導入科目)	電気電子工学基礎	3・4		2		○		3					
		メカトロニクス	3・4		2		○		1					
		通信工学概論	3・4		2		○		1					
		基礎流体力学	3・4		2		○		1					
		橋設計論	3・4		2		○		1					
		島嶼環境計画論	3・4		2		○		1					
道路交通計画		3・4		2		○			2					
海底資源工学		3・4		2		○		1						
地震工学		3・4		2		○		1		1				
都市地域計画		3・4		2		○		1						
居住建築概論		3・4		2		○		3	2					
コンピュータサイエンス基礎		3・4		2		○		1						
情報システム開発演習		3・4		2			○	1			1			
小計 (13科目)	—	0	26	0	—		16	4	0	2	0	兼0		
合計 (123科目)		—	75	141	15	—	22	10	0	7	0	兼45		

教育課程等の概要(事前伺い)

工学部工学科(エネルギー環境工学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	別紙のとおり (4頁~9頁)														
共通教育科目	微分積分学S T (スタンダードコース) I	1前	2			○								兼1	
	微分積分学S T (スタンダードコース) II	1後	2			○								兼1	
	微分積分学入門 I	1前		2		○								兼1	
	微分積分学入門 II	1後		2		○								兼1	
	物理学 I	1前	2			○								兼1	
	物理学 II	1後	2			○								兼1	
	物理学入門 I	1前		2		○								兼1	
	物理学入門 II	1後		2		○								兼1	
	物理学実験	1	1					○							兼1
	化学 I	1前			2	○									兼1
	化学 II	1後			2	○									兼1
	化学入門 I	1前		2		○									兼1
	化学入門 II	1後		2		○									兼1
	化学実験	1	1					○							兼1
	小計(14科目)	—	14	8	4	—	—	—	0	0	0	0	0	兼14	
専門教育科目	基礎数学 I	1前			1		○							兼1	
	基礎数学 II	1後			1		○							兼1	
	工業数学 I	1前	2				○		1						
	工業数学 II	1後	2				○			1					
	工業数学 III	2前	2				○			1					
	工業数学 IV	2後		2			○			1					
	確率及び統計	1・2後	2				○		1						
	キャリアデザイン入門	1前	1				○		3	4					
	工学基礎演習	1前	2				○			1					
	キャリアデザイン	3前	2				○		1					兼1	
	技術者の倫理	3	2				○		1						
	エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		5	6		5			
	プログラミング I	1・2後	2				○			1					
	プログラミング II	2・3前		2			○			1					
	技術英語 I	3前		2			○		1					兼1	
	技術英語 II	3後		2			○		1					兼1	
	技術英語 III	4前		2			○		1					兼1	
	知的財産権	3・4前		2			○							兼1	
	品質管理	3・4前		2			○		1						
	経営工学概論	3・4後		2			○							兼1	
	Frontiers of Engineering	3・4後		2			○		3	4					
	産業社会学原論 I	3・4前		2			○							兼7	
	産業社会学原論 II	3・4後		2			○							兼1	
	地域課題解決実践演習	1・2・3・4		2				○	3	2		2		集中	
	地域創生論	3前		2			○		3	4				集中	
	国際協力論	3後		2			○		3	4				集中	
	インターンシップ I	2・3・4		1				○		1				集中	
インターンシップ II	2・3・4		1				○		1				集中		
インターンシップ III	2・3・4		2				○		1				集中		
国際インターンシップ I	3・4		1				○	1					集中		
国際インターンシップ II	3・4		2				○	1					集中		

工学共通科目	工学概論	1後		2		○			3	4						オムニバス
	職業指導（工業）	4前		2		○										兼1
	総合演習	4前		2			○									兼1
	工業科教育法A	3後		2		○										兼1
	工業科教育法B	4前		2		○										兼1
	情報科教育法A	3後		2		○										兼1
	情報科教育法B	4前		2		○										兼1
	教職実践演習	4後		2			○									兼1
	セミナーⅠ	3・4		1			○		5	4		2				
	セミナーⅡ	3・4		1			○		5	4		2				
	卒業研究Ⅰ	4	3					○	5	6		5				
	卒業研究Ⅱ	4	3					○	5	6		5				
	卒業設計または卒業研究Ⅰ	4		3				○	6	5		3				
	卒業設計または卒業研究Ⅱ	4		3				○	6	5		3				
	小計（45科目）	—	27	51	8	—			6	6	0	5	0			兼23
専門教育科目	基礎情報処理	1前		2		○					1		1			
	製図基礎	1後		2			○				1		1			
	工業力学	1後		2		○					1					
	材料力学	2前		2		○			1							
	エネルギー材料工学	2前		2		○			1							
	流体工学	2前		2		○			1							
	熱力学	2前		2		○			1							
	電気工学概論	2前		2		○			1							
	応用流体工学	2後		2		○			1							
	エネルギー変換工学	2後		2		○					1					
	応用材料力学	2後		2		○			1							
	金属材料	2後		2		○					1					
	基礎制御工学	2後	2		2		○		1							
	環境計測工学	2後	2		2		○				1					
	エネルギー環境工学実験Ⅰ	2後	1		1			○			6		5			
	環境工学	3前	2		2		○		1							
	エネルギー環境工学実験Ⅱ	3前	1		1			○			6		5			
	機械力学	3前	2		2		○		1							
	プロジェクトマネジメント工学	3前	2		2		○		1							
	材料加工学	3前		2	2		○				1					
	機構学	3・4前		2	2		○				1					
	エネルギー移動工学	3・4前		2	2		○				1					
	環境流体工学	3・4前		2	2		○				1					
	エネルギー流体機械	3・4後		2	2		○				1					
	数値計算	3・4前		2	2		○				1					
	環境経済学	3・4前		2	2		○									兼1
	蒸気工学	3・4		2	2		○				1					
	エネルギー機器	3・4		2	2		○		1							
	システム要素設計学	3・4		2	2		○				1					
	腐食防食工学	3・4		2	2		○				1					
	熱機関工学	3・4		2	2		○		1							
	エネルギー空調工学	3・4		2	2		○		1							
	エネルギー機器設計演習	3後		1	1			○			1					
	亜熱帯材料学	3・4後		2	2		○		1							
	環境教育論	3・4後		2	2		○									兼1
	環境システム制御工学	3・4後		2	2		○				1					
	プロジェクトマネジメント演習	4前		1	1			○	5	6		5				
	エネルギー環境工学プロジェクト演習基礎	4後		2	2			○	5	6		5				
	エネルギー環境工学特別講義Ⅰ	2・3・4		2	2		○									兼1 集中
	エネルギー環境工学特別講義Ⅱ	2・3・4		2	2		○									兼1 集中
	エネルギー環境工学特別講義Ⅲ	2・3・4		2	2		○									兼1 集中
	エネルギー環境工学特別講義Ⅳ	2・3・4		2	2		○									兼1 集中
エネルギー環境工学特別講義Ⅴ	2・3・4		1	1		○									兼1 集中	
エネルギー環境工学特別講義Ⅵ	2・3・4		1	1		○									兼1 集中	
エネルギー環境工学特別講義Ⅶ	2・3・4		1	1		○									兼1 集中	

専門教育科目	エネルギー環境工学特別講義Ⅷ	2・3・4		1	○								兼1	集中
	小計 (46科目)	—	32	52	0	—		5	6	0	5	0	兼10	
	電気電子工学基礎	3・4		2	○			3						
	メカトロニクス	3・4		2	○			1						
	通信工学概論	3・4		2	○			1						
	基礎流体力学	3・4		2	○			1						
	橋設計論	3・4		2	○			1						
	島嶼環境計画論	3・4		2	○			1						
	道路交通計画	3・4		2	○				2					
	海底資源工学	3・4		2	○			1						
	地震工学	3・4		2	○			1			1			
	都市地域計画	3・4		2	○			1						
	居住建築概論	3・4		2	○			3	2					
コンピュータサイエンス基礎	3・4		2	○			1							
情報システム開発演習	3・4		2		○		1			1				
小計 (13科目)	—	0	26	0	—		16	4	0	2	0	兼0		
合計 (118科目)	—	73	137	12			21	10	0	7	0	兼47		

教育課程等の概要(事前伺い)																
工学部工学科(電気システム工学コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	別紙のとおり (4頁～9頁)															
共通教育科目	専門基礎科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○								兼1	
		微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○								兼1	
		微分積分学入門I	1前			2	○								兼1	
		微分積分学入門II	1後			2	○								兼1	
		物理学I	1前	2			○								兼1	
		物理学II	1後			2	○								兼1	
		物理学入門I	1前			2	○								兼1	
		物理学入門II	1後			2	○								兼1	
		物理学実験	1前	1					○							兼1
		化学I	1前		2		○									兼1
		化学II	1後		2		○									兼1
		化学入門I	1前	2			○									兼1
		化学入門II	1後	2			○									兼1
		化学実験	1後	1					○							兼1
小計(14科目)		—	10	6	10		—		0	0	0	0	0	兼14		
専門教育科目	工学共通科目	基礎数学I	1前	1			○								兼1	
		基礎数学II	1後		1		○								兼1	
		工業数学I	1前	2			○				1					
		工業数学II	1後	2			○				1					
		工業数学III	2前	2			○			1		1				
		工業数学IV	2後	2			○				1					
		確率及び統計	2前		2		○			1						
		キャリアデザイン入門	1前	1			○			3	4					
		工学基礎演習	1前	2				○			1					
		キャリアデザイン	2・3	2			○			1						
		技術者の倫理	3前	2			○			1						
		エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○			1					
		プログラミングI	1後	2			○				2					
		プログラミングII	2前		2		○				1					
		技術英語I	3前		2			○		1					兼1	
		技術英語II	3後		2			○		1					兼1	
		技術英語III	4前		2			○		1					兼1	
		知的財産権	3・4前		2			○							兼1	
		品質管理	3・4前		2			○		1						
		経営工学概論	3・4後		2			○							兼1	
		Frontiers of Engineering	3・4後		2			○		3	4				オムニバス	
		産業社会学原論I	3・4前		2			○							兼7	
		産業社会学原論II	3・4後		2			○							兼1	
		地域課題解決実践演習	1・2・3・4		2				○	3	2		2		集中	
		地域創生論	3前		2			○		3	4				集中	
		国際協力論	3後		2			○		3	4				集中	
		インターンシップI	2・3・4		1				○		1				集中	
		インターンシップII	2・3・4		1				○		1				集中	
		インターンシップIII	2・3・4		2				○		1				集中	
		国際インターンシップI	3・4		1				○	1					集中	
国際インターンシップII	3・4		2				○	1					集中			



専門教育科目	工学融合科目(導入科目)	材料生産工学概論	3・4	2	○	2	2					
		熱流体工学概論	3・4	2	○	2	2					
		エネルギー変換工学基礎	3・4	2	○	2	2					
		環境工学概論	3・4	2	○	2	2					
		基礎流体力学	3・4	2	○	1						
		橋設計論	3・4	2	○	1						
		島嶼環境計画論	3・4	2	○	1						
		道路交通計画	3・4	2	○		2					
		海底資源工学	3・4	2	○	1				1		
		地震工学	3・4	2	○	1						
		都市地域計画	3・4	2	○	1						
		居住建築概論	3・4	2	○	3	2					
		コンピュータサイエンス基礎	3・4	2	○	1						
		情報システム開発演習	3・4	2	○	1				1		
小計 (14科目)	—	0	28	0	—	19	12	0	2	0	兼0	
合計 (116科目)		—	65	143	16	29	21	1	8	0	兼43	

教育課程等の概要(事前伺い)

工学部工学科(電子情報通信コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	別紙のとおり (4頁~9頁)														
共通教育科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○								兼1	
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○								兼1	
	微分積分学入門I	1前		2		○								兼1	
	微分積分学入門II	1後		2		○								兼1	
	物理学I	1前	2			○								兼1	
	物理学II	1後		2		○								兼1	
	物理学入門I	1前		2		○								兼1	
	物理学入門II	1後		2		○								兼1	
	物理学実験	1前	1					○							兼1
	化学I	1前		2		○									兼1
	化学II	1後		2		○									兼1
	化学入門I	1前	2			○									兼1
	化学入門II	1後	2			○									兼1
	化学実験	1後	1					○							兼1
小計(14科目)		—	10	6	10	—			0	0	0	0	0	兼14	
専門教育科目	基礎数学I	1前	1				○							兼1	
	基礎数学II	1後		1			○							兼1	
	工業数学I	1前	2			○				1					
	工業数学II	1後	2			○				1					
	工業数学III	2前	2			○			1		1				
	工業数学IV	2後	2			○				1					
	確率及び統計	2前		2		○			1						
	キャリアデザイン入門	1前	1			○			1						
	工学基礎演習	1前	2				○			1					
	キャリアデザイン	2・3	2			○			3	4				兼1	
	技術者の倫理	3前	2			○			1						
	エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○			1					
	プログラミングI	1後	2			○				2					
	プログラミングII	2前		2		○				1					
	技術英語I	3前		2			○		1					兼1	
	技術英語II	3後		2			○		1					兼1	
	技術英語III	4前		2			○		1					兼1	
	知的財産権	3・4前		2		○								兼1	
	品質管理	3・4前		2		○			1						
	経営工学概論	3・4後		2		○								兼1	
	Frontiers of Engineering	3・4後		2		○			3	4				オムニバス	
	産業社会学原論I	3・4前		2		○			1					兼7	
	産業社会学原論II	3・4後		2		○			1					兼1	
	地域課題解決実践演習	1・2・3・4		2			○		3	2		2		集中	
	地域創生論	3前		2		○			3	4				集中	
	国際協力論	3後		2		○			3	4				集中	
	インターンシップI	2・3・4		1			○			1				集中	
インターンシップII	2・3・4		1			○			1				集中		
インターンシップIII	2・3・4		2			○			1				集中		
国際インターンシップI	3・4		1			○		1					集中		
国際インターンシップII	3・4		2			○		1					集中		



コース 専門科目	電子情報通信特別講義Ⅱ	3・4		2		○							兼1	集中	
	電子情報通信特別講義Ⅲ	3・4		2		○							兼1	集中	
	電子情報通信特別講義Ⅳ	3・4		2		○							兼1	集中	
	電子情報通信特別講義Ⅴ	3・4		2		○							兼1	集中	
	電子情報通信特別講義Ⅵ	3・4		2		○							兼1	集中	
	小計 (49科目)	—	27	70	0	—		5	6	0	4	0	兼7		
	専門教育科目	工学融合科目 (導入科目)	材料生産工学概論	3・4		2		○		2	2				
			熱流体工学概論	3・4		2		○		2	2				
			エネルギー変換工学基礎	3・4		2		○		2	2				
			環境工学概論	3・4		2		○		2	2				
			基礎流体力学	3・4		2		○		1					
			橋設計論	3・4		2		○		1					
			島嶼環境計画論	3・4		2		○		1					
			道路交通計画	3・4		2		○			2				
			海底資源工学	3・4		2		○		1					
地震工学			3・4		2		○		1			1			
都市地域計画			3・4		2		○		1						
居住建築概論			3・4		2		○		3	2					
コンピュータサイエンス基礎			3・4		2		○		1						
情報システム開発演習			3・4		2		○	○	1			1			
小計 (14科目)	—	0	28	0	—		19	12	0	2	0	兼0			
合計 (122科目)		—	65	156	16		24	18	0	6	0	兼58			

教育課程等の概要(事前伺い)															
工学部工学科(社会基盤デザインコース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	別紙のとおり (4頁～9頁)														
共通教育科目	専門基礎科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2		○								兼1	
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2		○									兼1	
	微分積分学入門I	1前		2	○									兼1	
	微分積分学入門II	1後		2	○									兼1	
	物理学I	1前	2		○									兼1	
	物理学II	1後	2		○									兼1	
	物理学入門I	1前		2	○									兼1	
	物理学入門II	1後		2	○									兼1	
	物理学実験	1前		1			○							兼1	
	化学I	1前		2		○								兼1	
	化学II	1後		2		○								兼1	
	化学入門I	1前		2		○								兼1	
	化学入門II	1後		2		○								兼1	
	化学実験	1後		1				○						兼1	
	小計(14科目)	—	0	18	8	—	—	—	0	0	0	0	0	兼14	
専門教育科目	工学共通科目	基礎数学I	1前		1	○								兼1	
		基礎数学II	1後		1	○								兼1	
		工業数学I	1前	2			○				1				
		工業数学II	1後	2			○				1				
		工業数学III	2前	2			○			1					
		工業数学IV	2後		2		○							兼1	
		確率及び統計	2前		2		○				1				
		キャリアデザイン入門	1前	1			○			1	1				
		工学基礎演習	1前	2				○		5	5				
		キャリアデザイン	3前	2			○			1	1				
		技術者の倫理	3前	2			○			5	5				
		エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		1	1				
		プログラミングI	1後		2		○				1				
		プログラミングII	2前		2		○				1				
		技術英語I	3前		2			○		1				兼1	
		技術英語II	3後		2			○		1				兼1	
		技術英語III	4前		2			○		1				兼1	
		知的財産権	3・4前		2			○							兼1
		品質管理	3・4前		2			○							兼1
		経営工学概論	3・4後		2			○							兼1
		Frontiers of Engineering	3・4後		2			○		3	4				オムニバス
		産業社会学原論I	3・4前		2			○							兼7
		産業社会学原論II	3・4後		2			○							兼1
		地域課題解決実践演習	1・2・3・4		2				○	3	2		2		集中
		地域創生論	3前		2			○		3	4				集中
		国際協力論	3後		2			○		3	4				集中
		インターンシップI	2・3・4		1				○		1		1		集中
		インターンシップII	2・3・4		1				○		1		1		集中
		インターンシップIII	2・3・4		2				○		1		1		集中
		国際インターンシップI	3・4		1				○	1			1		集中
国際インターンシップII	3・4		2				○	1			1		集中		

工学共通科目	工学概論	1後		2		○			3	4						オムニバス	
	職業指導（工業）	4前		2		○										兼1	
	総合演習	4前		2			○									兼1	
	工業科教育法A	3後		2		○	○									兼1	
	工業科教育法B	4前		2		○										兼1	
	情報科教育法A	3後		2		○										兼1	
	情報科教育法B	4前		2		○										兼1	
	教職実践演習	4後		2			○									兼1	
	セミナーⅠ	3・4		1			○		5	5		3					
	セミナーⅡ	3・4		1			○		5	5		3					
	卒業研究Ⅰ	4	3					○	5	5		3					
	卒業研究Ⅱ	4	3					○	5	5		3					
	卒業設計または卒業研究Ⅰ	4			3			○	6	5		3					
	卒業設計または卒業研究Ⅱ	4			3			○	6	5		3					
	小計（45科目）	—	21	55	10	—	—	—	6	5	0	3	0			兼23	
	専門教育科目	コース専門科目	社会システム計画学Ⅰ	1後		2		○			1						
デザイン基礎			1後		1		○			1							
構造力学Ⅰ及び演習			1後		3		○				1		1				※演習
情報処理解析法			1後		2		○					1					
基礎流体力学			1後		2		○			1							
社会システム計画学Ⅱ			2前		2		○				1						
構造力学Ⅱ			2前		2		○			1							※演習
水理学Ⅰ及び演習			2前		3		○			1			1				※演習
土質力学Ⅰ及び演習			2前		3		○				1						※演習
測量学Ⅰ			2前		2		○					1					
測量学実習Ⅰ			2前	1.5				○									兼1
測量学Ⅱ			2後		2		○										兼1
測量学実習Ⅱ			2後		1.5			○									兼1
建設材料学			2後		2		○				1						
水理学Ⅱ			2後		2		○			1							
構造力学Ⅲ			2後		2		○					1					
土質力学Ⅱ		2後		2		○					1						
海岸工学		3前		2		○			1								
鋼構造工学		3前		2		○					1						
コンクリート構造工学		3前		2		○					1						
地盤工学		3前		2		○					1						
橋設計論		3前		2		○			1								
材料工学		3前		2		○			1								
島嶼環境計画論		3前		2		○			1								
コンクリート工学実験		3前		1.5			○				1		1				
地盤工学実験		3前		1.5			○				1		1				
水工学実験		3前		1.5			○		1			1					
道路交通計画		3前		2		○					2						
プロジェクトマネジメント		3後		2		○										兼1	
腐食防食と疲労		3後		2		○					1		1				
維持管理工学		3後		2		○			1	1							
河川工学		3後		2		○			1								
環境衛生工学	3後		2		○										兼1		
減災計画	3後		2		○					1							
海底資源工学	3後		2		○			1									
地震工学	3後		2		○			1			1						
都市地域計画	3後		2		○			1									
港湾工学	3後		2		○										兼1		
計算力学	3後		2		○			1									
岩盤力学	3後		2		○					1							
デザイン演習A	3後		1.5			○				1		1			※演習		
デザイン演習B	3後		1.5			○				1		1			※演習		
火薬学	4前		2		○										兼1		
社会基盤デザイン特別講義Ⅰ	3・4		2		○										兼1 集中		

専門教育科目	コース専門科目	社会基盤デザイン特別講義Ⅱ	3・4		2		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅲ	3・4		2		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅳ	3・4		2		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅴ	3・4		2		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅵ	3・4		2		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅶ	3・4		1		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅷ	3・4		1		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅸ	3・4		1		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅹ	3・4		1		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅺ	3・4		1		○							兼1	集中
		社会基盤デザイン特別講義Ⅻ	3・4		1		○							兼1	集中
		小計（55科目）		—	37.5	65	0	—			5	5	0	3	0
工学融合科目（導入科目）	材料生産工学概論	3・4		2		○			2	2					
	熱流体工学概論	3・4		2		○			2	2					
	エネルギー変換工学基礎	3・4		2		○			2	2					
	環境工学概論	3・4		2		○			2	2					
	電気電子工学基礎	3・4		2		○			3						
	メカトロニクス	3・4		2		○			1						
	通信工学概論	3・4		2		○			1						
	居住建築概論	3・4		2		○			3	2					
	コンピュータサイエンス基礎	3・4		2		○			1						
	情報システム開発演習	3・4		2			○		1			1			
小計（10科目）		—	0	20	0	—			18	10	0	1	0	兼0	
合計（124科目）		—	58.5	158	18				23	15	0	4	0	兼56	

教育課程等の概要(事前伺い)															
工学部工学科(建築学コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	別紙のとおり (4頁～9頁)														
共通教育科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○								兼1	
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○								兼1	
	微分積分学入門I	1前		2		○								兼1	
	微分積分学入門II	1後		2		○								兼1	
	物理学I	1前	2			○								兼1	
	物理学II	1後		2		○								兼1	
	物理学入門I	1前		2		○								兼1	
	物理学入門II	1後		2		○								兼1	
	物理学実験	1前	1					○							兼1
	化学I	1前		2		○									兼1
	化学II	1後		2		○									兼1
	化学入門I	1前			2		○								兼1
	化学入門II	1後			2		○								兼1
	化学実験	1後	1						○						兼1
小計(14科目)			8	6	12	-			0	0	0	0	0	兼14	
専門教育科目	基礎数学I	1前		1			○								
	基礎数学II	1後		1			○								
	工業数学I	1前	2			○			1						
	工業数学II	1後	2			○				1					
	工業数学III	2前		2		○				1					
	工業数学IV	2後		2		○				1					
	確率及び統計	2前		2		○				1					
	キャリアデザイン入門	1前	1			○			3	4					
	工学基礎演習	1前			2		○		3	4					
	キャリアデザイン	3前		2		○			1					兼1	
	技術者の倫理	3前		2		○			1						
	エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○			1					
	プログラミングI	1後		2		○				1					
	プログラミングII	2前		2		○				1					
	技術英語I	3前		2			○		1						
	技術英語II	3後		2			○		1						
	技術英語III	4前		2			○		1						
	知的財産権	3・4前		2		○			1					兼1	
	品質管理	3・4前		2		○			1					兼1	
	経営工学概論	3・4後		2		○								兼1	
	Frontiers of Engineering	3・4後		2		○			3	4				オムニバス	
	産業社会学原論I	3・4前		2		○								兼7	
	産業社会学原論II	3・4後		2		○								兼1	
	地域課題解決実践演習	1・2・3・4		2			○		3	2		2		集中	
	地域創生論	3前		2		○			3	4				集中	
	国際協力論	3後		2		○			3	4				集中	
	インターンシップI	2・3・4		1				○		1				集中	
	インターンシップII	2・3・4		1				○		1				集中	
	インターンシップIII	2・3・4		2				○		1				集中	
	国際インターンシップI	3・4		1				○	1					集中	
国際インターンシップII	3・4		2				○	1					集中		

工学共通科目	工学概論	1後		2		○			3	4					オムニバス	
	職業指導（工業）	4前		2		○									兼1	
	総合演習	4前		2			○								兼1	
	工業科教育法A	3後		2		○									兼1	
	工業科教育法B	4前		2		○									兼1	
	情報科教育法A	3後		2		○									兼1	
	情報科教育法B	4前		2		○									兼1	
	教職実践演習	4後		2			○								兼1	
	セミナーⅠ	3・4		1			○		6	5		3				
	セミナーⅡ	3・4		1			○		6	5		3				
	卒業研究Ⅰ	4			3			○	5	5		3				
	卒業研究Ⅱ	4			3			○	5	5		3				
	卒業設計または卒業研究Ⅰ	4	3					○	6	5		3				
	卒業設計または卒業研究Ⅱ	4	3					○	6	5		3				
	小計（45科目）	—	13	65	8	—	—	—	6	5	0	3	0	兼19		
	専門教育科目	コース専門科目	建築構造力学Ⅰ	1前	3			○		1			1			※演習
			建築学基礎演習	1前	2				○	6	5		3			
建築基礎情報処理			1前		1			○	1			1				
建築構造力学Ⅱ			1後	3				○		1					※演習	
基礎流体力学			1後		2			○	1							
建築デザイン基礎			1後	2				○	1	1		1				
建築構法			1後		2				○	1	1					
建築設計製図Ⅰ			2前	3				○	1	1		1				
建築計画概論			2前	2				○			1					
都市計画			2前	2				○	1	1						
建築材料学			2前	2				○	1							
建築構造力学Ⅲ			2前		3			○	1			1			※演習	
計算材料力学			2前		3			○	1			1			※演習	
測量学			2前		2			○			1				※演習	
測量学実習			2前		1.5				○						兼1	
構造設計Ⅰ			2後	2				○			1					
建築設計製図Ⅱ			2後	3					○	1	1		1			
建築史概論			2後	2				○		1						
住空間計画		2後	2				○		1							
建築環境工学Ⅰ		2後	2				○			1						
防災工学概論		2後	2				○		1							
環境材料学		2後	2				○		1							
各種建築計画		2後		2			○		1							
建築設備計画		3前	2				○			1						
建築環境工学Ⅱ		3前	2				○		1							
構造設計Ⅱ		3前	2				○			1						
建築環境工学実験		3前	1					○	1			1				
建築生産		3前	2				○		1							
建築設計製図Ⅲ		3前		3				○	1	1		1				
建築意匠		3前	2				○		1							
居住地計画		3前	2				○		1							
都市デザイン演習		3前	2				○			1				※演習		
耐震設計概論		3後	2				○			1						
建築法規		3後	2				○		1							
建築環境工学演習		3後	1					○		1						
建築材料構造実験		3後	1					○				1				
建築設計製図Ⅳ	3後		3				○	1	1		1					
建築基礎構造	3後	2				○		1								
建築環境設備設計	3後	2				○		1								
現代建築思潮	3後	2				○			1							
数理情報処理	3後	2				○		1					※演習			
都市計画法制	3後	2				○			1							
都市および地方計画	3後	2				○			1							
公共計画の技術と理論	3後	2				○			1							

専門教育科目	コース専門科目	建築技術者倫理	4前	2		○		6	5					オムニバス
		環境情報システム	4前		2		○				1			
		フィールドセミナーⅠ	2・3・4		1			○	6	5				
		フィールドセミナーⅡ	2・3・4		1			○	6	5				
		建築学特別講義Ⅰ～Ⅴ	2・3・4		1		○							兼1 集中
		建築学特別講義Ⅵ～Ⅹ	2・3・4		2		○							兼1 集中
	小計(51科目)	—	49	51.5	0	—	—	6	5	0	3	0	兼3	
	工学融合科目(導入科目)	材料生産工学概論	3・4		2		○		2	2				
		熱流体工学概論	3・4		2		○		2	2				
		エネルギー変換工学基礎	3・4		2		○		2	2				
		環境工学概論	3・4		2		○		2	2				
		電気電子工学基礎	3・4		2		○		3					
		メカトロニクス	3・4		2		○		1					
		電気電子工学基礎	3・4		2		○		3					
		通信工学概論	3・4		2		○		1					
		基礎流体力学	1後		2		○		1					
		橋設計論	3前		2		○		1					
		島嶼環境計画論	3前		2		○		1					
		道路交通計画	3前		2		○			2				
		海底資源工学	3後		2		○		1					
地震工学		3後		2		○		1			1			
都市地域計画	3後		2		○		1							
コンピュータサイエンス基礎	3前		2		○		1							
情報システム開発演習	3後		2			○	1			1				
小計(17科目)	—	0	34	0	—	—	24	10	0	2	0	兼0		
合計(127科目)		—	70	156.5	20	—	—	30	15	0	5	0	兼36	

教育課程等の概要(事前伺い)															
工学部工学科(知能情報コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	別紙のとおり (4頁~9頁)														
共通教育科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○								兼1	
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○								兼1	
	微分積分学入門I	1前		2		○								兼1	
	微分積分学入門II	1後		2		○								兼1	
	物理学I	1前	2			○								兼1	
	物理学II	1後	2			○								兼1	
	物理学入門I	1前		2		○								兼1	
	物理学入門II	1後		2		○								兼1	
	物理学実験	1前		1				○							兼1
	化学I	1前		2		○									兼1
	化学II	1後		2		○									兼1
	化学入門I	1前		2		○									兼1
	化学入門II	1後		2		○									兼1
	化学実験	1後		1				○							兼1
小計(14科目)		—	8	18	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼14	
専門教育科目	基礎数学I	1前		1			○							兼1	
	基礎数学II	1後		1			○							兼1	
	工業数学I	1前	2			○				1					
	工業数学II	1後	2			○				1					
	工業数学III	2前		2		○			1						
	工業数学IV	2後		2		○				1					
	確率及び統計	2後		2		○			1						
	キャリアデザイン入門	1前	1			○			3	4					
	工学基礎演習	1前	2				○		1						
	キャリアデザイン	3前	2			○			1					兼1	
	技術者の倫理	1前	2			○			1						
	エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○			6		3			
	プログラミングI	1前	2			○				1					
	プログラミングII	1後	2			○				1					
	技術英語I	3前		2			○		1					兼1	
	技術英語II	3後		2			○		1					兼1	
	技術英語III	4前		2			○		1					兼1	
	知的財産権	3・4前		2		○								兼1	
	品質管理	3・4前		2		○			1						
	経営工学概論	3・4後		2		○								兼1	
	Frontiers of Engineering	3・4後		2		○			3	4				オムニバス	
	産業社会学原論I	3・4前		2		○								兼7	
	産業社会学原論II	3・4後		2		○								兼1	
	地域課題解決実践演習	1・2・3・4		2			○		3	2		2		集中	
	地域創生論	3前		2		○			3	4				集中	
	国際協力論	3後		2		○			3	4				集中	
	インターンシップI	2・3・4		1				○		1				集中	
インターンシップII	2・3・4		1				○		1				集中		
インターンシップIII	2・3・4		2				○		1				集中		
国際インターンシップI	3・4		1				○	1					集中		
国際インターンシップII	3・4		2				○	1					集中		

工学共通科目	工学概論	1後		2		○		3	4						オムニバス	
	職業指導（工業）	4前		2		○								兼1		
	総合演習	4前		2			○			1						
	工業科教育法A	3後		2		○								兼1		
	工業科教育法B	4前		2		○								兼1		
	情報科教育法A	3後		2		○				1						
	情報科教育法B	4前		2		○				1						
	教職実践演習	4後		2			○		1	1						
	セミナーⅠ	4	1				○		7	6		3				
	セミナーⅡ	4	1				○		7	6		3				
	卒業研究Ⅰ	4	3					○	7	6		3				
	卒業研究Ⅱ	4	3					○	7	6		3				
	卒業設計または卒業研究Ⅰ	4		3				○	6	5		3				
	卒業設計または卒業研究Ⅱ	4		3				○	6	5		3				
	小計（45科目）	—	25	55	6	—	—	—	7	7	0	4	0	兼19		
	専門教育科目	コース専門科目	プログラミング演習Ⅰ	1前	1			○		1			1			
			プログラミング演習Ⅱ	1後	1			○		1			1			
離散数学			1後	2			○		1							
アルゴリズムとデータ構造			2前	2			○		1							
情報ネットワークⅠ			2前	2			○				1					
コンピュータシステム			2前	2			○				1					
データサイエンス基礎			2前	4			○				1					
プロジェクトデザイン			2前	2				○	1						※演習	
デジタル回路			2前		2		○						1			
情報処理技術概論			2前		2		○								兼1	
オペレーティングシステム			2後	2			○				1					
コンピュータアーキテクチャ			2後	2			○			1						
情報ネットワークⅡ			2後		2		○					1				
VLSI設計			2後		2		○			1						
言語理論とオートマトン			2後		2		○			1						
データベースシステム			2後	2			○					1				
人工知能			2後	2			○			1						
デジタル信号処理			2後		2		○			1						
ソフトウェア工学		3・4前		2		○					1					
数理計画とアルゴリズム		3・4前		2		○					1					
並列分散処理		3・4前		2		○			1							
デジタルシステム設計		3・4前		2		○			1							
インターネットアーキテクチャ		3・4前		2		○								兼1		
機械学習		3・4前		2		○					1					
ヒューマンコンピュータインタラクション		3・4前		2		○						1				
情報理論		2後		2		○			1							
計算機言語構成論		3・4後		2		○					1					
デジタル制御論		3・4後		2		○						1				
画像処理		3・4後		2		○					1					
ネットワークセキュリティ		3・4後		2		○								兼1		
知能ロボット		3・4後		2		○			1							
コレクティブインテリジェンス		3・4後		2		○			1							
データマイニング		3・4後		2		○					1					
知能情報実験Ⅰ		2前	1.5					○		2		3		兼1		
知能情報実験Ⅱ		2後	1.5					○		2		3				
知能情報実験Ⅲ		3前	2					○		6		3				
ソフトウェア開発演習Ⅰ	2後	2				○		1								
ソフトウェア開発演習Ⅱ	3前		2			○				1			兼1			
ソフトウェア開発演習Ⅲ	3後		2			○				1						
ICT実践英語Ⅰ	4前		2			○							兼1			
ICT実践英語Ⅱ	4後		2			○							兼1			
情報技術演習Ⅰ	3・4前後		2			○							兼1			
情報技術演習Ⅱ	3・4前後		2			○							兼1			
情報技術演習Ⅲ	3・4前後		1			○							兼1			

専門教育科目	コース専門科目	情報技術演習IV	3・4前後		1		○								兼1	
		知能情報特別講義I	3・4前後		2		○								兼1	
		知能情報特別講義II	3・4前後		2		○								兼1	
		知能情報特別講義III	3・4前後		1		○								兼1	
		知能情報特別講義IV	3・4前後		1		○								兼1	
		小計 (49科目)	—		31	62	0	—		7	7	0	4	0	兼15	
	工学融合科目 (導入科目)		材料生産工学概論	3・4		2		○		2	2					
			熱流体工学概論	3・4		2		○		2	2					
			エネルギー変換工学基礎	3・4		2		○		2	2					
			環境工学概論	3・4		2		○		2	2					
			電気電子工学基礎	3・4		2		○		3						
			メカトロニクス	3・4		2		○		1						
			電気電子工学基礎	3・4		2		○		3						
			通信工学概論	3・4		2		○		1						
			基礎流体力学	3・4		2		○		1						
			橋設計論	3・4		2		○		1						
			島嶼環境計画論	3・4		2		○		1						
		道路交通計画	3・4		2		○			2						
		海底資源工学	3・4		2		○		1							
		地震工学	3・4		2		○		1			1				
		都市地域計画	3・4		2		○		1							
		居住建築概論	3・4		2		○		3	2						
	小計 (16科目)	—		0	32	0	—		25	12	0	1	0	兼0		
合計 (126科目)		—		64	167	6			32	19	0	5	0	兼48		
学位又は称号		学士 (工学)		学位又は学科の分野				工学関係								

## I 設置の趣旨・必要性

### (1) 改組の趣旨

我が国は、超高齢化社会、グローバル化や新興国の台頭による競争激化などを背景に、国際競争力の維持・向上、活力ある地域経済社会の構築、医療・介護サービスの持続的・効率的提供など、重要な課題に果敢に取り組みつつ、持続的に発展し活力ある社会を目指した変革により豊かさを実感できる社会を構築することが求められている。その実現に向けて、未来を築く最先端研究開発、グローバルに人々の生活を一変させる全く新しい商品開発、日常生活を堅実に支える製品開発・運用まで、新しいアイデアと高い技術力を駆使し実用へと導くことのできる付加価値の高い理工系人材は、欠くことのできない存在である。このことを重視し、我が国は理工系人材の質的充実・量的確保に向け、戦略的に人材育成に取り組んでいかなければならない情勢となっている。

このような状況において、沖縄県は、将来（概ね2030年）の沖縄の基本構想として「沖縄21世紀ビジョン」を平成22年に策定した。「沖縄21世紀ビジョン」は、時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな『美ら島』おきなわを実現することを基本理念とし、自立型経済の構築を目指している。また、そのビジョンを実現するために「沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、地域経済の自立的な発展に向けて、成長のエンジンである移出型産業が複数堅実に育つこと、域内産業がさらに活性化すること、この両者が連携・補完していく経済構造を創出するために、次の2つに重点を置いて沖縄を支える産業の発展を目指して、具体的な施策を展開している。○リーディング産業である観光リゾート産業及び情報通信関連産業、国際貨物ハブを核とした臨空・臨港型産業など、沖縄の優位性を活かした、第3、第4のリーディング産業の創出  
○製造業をはじめ、建設業など地域内のあらゆる産業を振興し、特に、医療、再生可能エネルギー技術及び科学技術などの分野においても沖縄の特性を活かした新たな価値を創造する取組の強化

琉球大学工学部は、平成5年に改組を行って以来、科学技術の変遷に従ってカリキュラムの改定は行っていたが、社会変革に伴った大きな教育・組織改革を行っていない。そのため、「学科」を中心としたカリキュラム編成が重視され、学科間の教育交流や分野横断型の幅広いカリキュラム提供が不十分である。平成5年当時と比較して、社会情勢は大きく変化しており、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」にある人材育成の要望に対して、現教育課程及び体制では社会情勢の変革に十分に対応できていないことから早急な改組が求められている。沖縄県における人材育成上のニーズは、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の中で多分野にわたって掲げられている。工学分野に関連した事項では、「産業構造の変化と新産業創出に対応した人材」の育成が求められている。

琉球大学工学部では、沖縄県が新たに求めている人材育成に対応するために、これら新分野に対応するための人材育成、ならびにこれまで対応してきた地域産業界を担う人材育成を継続強化するため、既存の4学科体制を再編強化し、1学科7コース体制へ改組する。

本学部では、これにより各研究分野に跨る亜熱帯島嶼地域における地域性、自然環境、歴史・文化に基づいた工学に関連した研究と教育をさらに深化させ、情報通信関連産業、製造業、建設業、電力産業などでの新たなビジネスモデルの展開や、国際物流ハブを核としたエネルギー産業などの新産業の展開推進など、新たな価値の創造へとつながる展開を目指していく。これを踏まえて、学士課程における改革では、幅広い分野を網羅した体系化された人材育成教育システムの構築、社会ニーズの変化に柔軟かつ機敏に対応できる教育コース（1学科7コース体制）の構築を図る。今回改組を予定している1学科7コース体制は、以下に示す特徴を有しており、これからの新時代を担う人材育成体制として適切である。

#### ①基礎学力定着・強化科目の設定による学力強化

これまで各学科で別々に教育していた数学・物理学などの基礎科目を、学科全体で共通科目として設定でき、これにより教育内容の幅と深さを充実させることができる。これらの科目は、すべての専門教育の基礎科目として位置付けられ、入学時における基礎学力不足の学生に対して学科全体で対応することが可能である。

#### ②イノベーションを創出する発想力・企画力の醸成

それぞれの分野の学生が要求されるコミュニケーション能力、発想力・企画力、リーダーシップ・チームワーク能力及び技術者倫理を、工学基盤科目やコミュニケーション能力強化科目、ならびにキャリア教育強化科目として学生に提供することによって、学科全体で様々な問題に対応でき、イノベーションを創出する発想力・企画力を有する学生を育成することができる。

#### ③教育分野の拡充

主専門と他複数専門分野の科目を履修することにより、様々な事象に適切に対応できる技術者を育成することができる。本学科の教育体系として幅広く他分野の専門領域を学ぶための仕組みとして工学融合科目を設定しており、融合科目の履修により他分野を含む幅広い知識の獲得につながり、育成人材の活躍の場を拡大できる。

#### ④柔軟な教育システムによる教育の機動力向上

1学科7コース体制へ再編成（大括り化）することにより、今後起こりうる社会情勢の変化に対して素早く対応でき、教育システムの再構築を行うことが可能である。これにより、社会ニーズの変化に柔軟かつ機敏に対応する学位授与プログラムを構築することができる。

#### ⑤少人数教育によるアクティブ・ラーニングの積極導入

1コースの定員は50名程度であるため、少人数教育が導入し易くなる。琉球大学工学部では、学生の討論能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力、発想能力を育成するため、旧来の座学形式の授業だけでなく、討論やプレゼンテーションを導入したアクティブ・ラーニング形式の授業を増加させる。

#### ⑥キャリア教育の強化

1学科7コース体制へ再編し、初年次段階において近年ニーズの高いキャリア教育を全学生へ履修させる。さらにコミュニケーション能力強化に必要な基礎的な初年次履修科目は共通化を図っているため、2年次以降においても他コースへの転コースが容易であり、在学中における学生のキャリア希望先の変更にも柔軟に対応できる。3年次においてもキャリアデザイン科目（キャリアデザイン、インターンシップ等）を履修することにより学生自身のキャリア設計や適切なキャリアの検討が適宜柔軟に行える。結果的にキャリアのミスマッチを大幅に減少できる。また、1年次の早期から自分自身の将来のキャリアを意識させることで、最終的に就職率の向上も期待できる。

## (2) 改組の必要性

国立大学の「ミッションの再定義」における工学分野については、我が国の産業を牽引し、成長の原動力となる人材の育成や産業構造の変化に対応した研究開発の推進という要請に添えていくため、大学院を中心に教育研究組織の再編・整備や機能の強化が喫緊に求められており、その期待が増大している。工学分野に求められる具体的な事項は、次の各点に集約される。

- エンジニアとしての汎用的能力の獲得を支援する国際水準の教育と工学教育の質的改善の実行
- グローバル化に対応した人材の育成と最新の高度専門技術に対応するための社会人の学び直しの推進
- 強みや特色を活かしつつ、先進的な研究や学際的な研究を進め、研究成果を産業につなげる観点からの、地域の地場産業も含めた産業界との強い連携

工学部では、琉球大学の理念である「真理の探求」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追求」を踏まえて、幅広い教養と技術者倫理、コミュニケーション能力および高度な専門知識を身につけ、安全・安心な社会の創出および地域環境保全や平和に貢献し得る豊かな創造力と実践力を兼ね備えた人材育成に取り組んできた。しかしながら社会情勢は、急速な少子高齢化、グローバル化など急激に変化しており、大学においては工学教育の質的転換と国際水準の教育によるグローバル化に対応した人材育成が社会から求められている。

## (3) 工学科設置の趣旨および名称

工学部では、ミッションの再定義を踏まえ、地域社会・産業構造の変化と新産業創出ならびに国際社会に貢献する人材の育成を果たす組織改革が求められている。沖縄の将来像である「沖縄21世紀ビジョン基本計画」では、情報・通信関連、地域密着型ものづくり産業、観光を支える社会基盤産業である建設産業及び低炭素型島嶼社会の構築といった新産業の展開推進など、新たな価値の創造へとつながる展開を目指していくことが示されている。これらを実行するために沖縄の産業振興をリードする人材育成の要請がある。

工学部では、沖縄の産業振興と経済の自立的発展に寄与できる人材を育成し、産業界や社会の要求に素早く対応するため、新産業創出の展開が期待される新しい2教育コースを加え再編強化した1学科7コース体制（機械工学コース、エネルギー環境工学コース、電気システム工学コース、電子情報通信コース、社会基盤デザインコース、建築学コース、知能情報コース）へと改組する。

社会人（有職者）を対象としたこれまでの機械システム工学科および電気電子工学科の夜間主コースについては廃止し、多様な社会ニーズに対応するため社会人の学び直しの機会を、新学科の全専門領域において新たに提供する。さらに、旧来の専門分野に加えイノベーションが期待される新しい専門分野において人材育成が推進できるように先に示した新たな教育コース（新設2コース：エネルギー環境工学コース、電気システム工学コース）を再編新設する。なお、改組後の学部名称は「工学部」、統合した学科名称は「工学科」とする。

## (4) 各コースの設定趣旨

### ○機械工学コース

機械工学はものづくりの重要な基盤技術の一つであり、我が国の産業の発展に大きな役割を果たしてきた。近年では、工業のグローバル化、高度化、ITを利用した高度情報化、他分野との融合など機械工学を取り巻く環境は大きく変化している。しかしながら、技術立国としてもものづくりを推進していく上で機械工学は産業を支える中心的な学問分野であり、これからの重要性や必要性が変わることはない。機械工学の基本的な知識を有し、変化に対する環境に対して自らの力で適応できる能力を備え、国内外において幅広く活躍できる機械工学に携わる人材を育成する教育プログラムが必要とされている。

また、島嶼環境下にある沖縄県における製造業を維持・発展するためには、自らの知識・能力を活かして、機器の設計、製造、研究開発に取り組める機械技術者の育成が望まれている。そして最近では、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」といった沖縄振興計画が策定され、地域密着型ものづくり産業や国際物流ハブにおける新産業への展開などが打ち出されており、機械工学に関する幅広い知識や製造技術などを応用・展開することができる人材やその育成を行う教育プログラムが求められている。そのため、以上の課題に添え、さらに沖縄県内外で幅広く活躍できる機械の専門知識を有する人材を養成する目的で機械工学コースを設置する。

### ○エネルギー環境工学コース

将来にわたって持続可能な人間活動、安全・安心な社会を実現するために、安定的なエネルギーの供給および環境との共生が強く求められている。これらの問題はそれぞれ深く関係しており、同時に検討していくべき総合的なエネルギー環境問題であり、世界中あらゆる分野で直面している重要課題である。周囲を海に囲まれた沖縄県ならびに海洋社会を共有する近隣の島嶼地域においても、ほぼすべてのエネルギー源を輸入に頼っていること、また地域が保有する自然は大事な観光資源であることから、将来のエネルギー供給や環境保全・共生などエネルギー環境問題は地域が直面する非常に重要な課題である。そのため、再生可能エネルギー開発やその利用、CO2排出の軽減、電気自動車等機器の開発と利用、リサイクル技術、腐食問題の解決といったエネルギー開発・利用技術、環境負荷低減技術開発が進められており、将来これらを担うエンジニア人材が求められている。このようなエネルギー・環境を考慮したエネルギー源や環境負荷低減技術の開発を行うエンジニア人材には、本質的に複数の分野を横断する幅広い知識とそれを統合マネジメントする能力が要求される。したがって、エネルギー・環境といった複合的な問題に対して、幅広く専門的な知識を有するとともに、それら複合分野を統合マネジメントできるエンジニア人材を養成する目的でエネルギー環境工学コースを設置する。

### ○電気システム工学コース

地球温暖化や化石燃料枯渇の懸念から電力エネルギーの高効率な有効利用が今後ますます求められている。例えば、エネルギーの効率的利用のため電動化は急速に進展しており、電力変換機器や高性能制御を利用したハイブリッド自動車や電気自動車が近年利用されている。また、エネルギーセキュリティ確保のため島嶼地域へ再生可能エネルギーを大規模に導入し、スマートグリッド技術を利用して安価な電力を災害発生時も安定供給することが国内外で望まれている。さらに我が国においては人口減少時代を本格的に迎えることから、ロボットを活用することで持続的な社会発展が期待されているところである。すなわち、現代社会の基盤を形成する電気システムインフラを維持・管理していくとともに、時代に則した電力エネルギー等に係る新産業を創出する人材を養成する目的で電気システム工学コースを設置する。

#### ○電子情報通信コース

情報通信技術は現代社会を支える基盤技術の1つであり、島嶼地域である沖縄県においては、とくに、医療・福祉ならびに教育分野における情報通信技術の活用、農林水産分野におけるスマートアグリシステムによる生産性の効率化が期待されている。一方、グローバルな視点に着目すると、沖縄県は東アジアのゲートウェーとしてのポテンシャルを有しており、アジアー沖縄ー首都圏を直接接続する光通信ネットワークの構築が推進されている。このように高度化する情報通信技術に対応するための情報機器の高機能化、小型化、省電力化などの要求が高まっているとともに、センサ技術、集積回路技術、ディスプレイ技術等において新しい材料やデバイスの開発など電子工学分野における技術革新も強く求められている。さらに、高効率太陽電池や燃料電池などエネルギー関連の材料開発も今後ますます必要とされている。このような観点から、情報通信とエレクトロニクスの融合分野において活躍できる人材を養成する目的で電子情報通信コースを設置する。

#### ○社会基盤デザインコース

社会基盤デザイン分野では、亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性を活かした環境調和型の工学的価値を創造し、空港、港湾、離島架橋、道路、鉄軌道を含む公共交通システム等、地域の観光リゾート産業を支える持続可能な社会基盤の創成が求められている。一方、気候変動や新エネルギー開発に関わる海洋・海底資源開発、防災減災、環境保全など、グローバルな諸問題解決に貢献できる人材育成が求められている。また、国際的な災害支援拠点、建設技術の国際協力など琉球諸島から国際社会へ貢献できる技術の開発と人材育成が求められている。

以上のことから、従来の土木工学を発展させ、国内外の社会システム全体を俯瞰できる幅広い視野と専門知識を兼ね備えた総合的な高度専門技術者を養成し、地域社会へ貢献できる人材を養成する目的で社会基盤デザインコースを設置する。

#### ○建築学コース

将来にわたって持続可能な人間活動、安全・安心な社会を実現するために、建築およびその集合体としての地域生活空間の構築は基本的な条件である。亜熱帯島嶼の環境における台風や塩害などの厳しい自然条件に耐える建築物を構築する技術は、地域で強く求められるとともに日本国内および国際的に貢献できる可能性を有している。蒸暑気候下において快適で合理的な環境性能を実現する建築環境、建築設計、都市環境計画は、日本国内でも特色ある環境下に適合する技術体系であり、世界の広い面積を占める蒸暑地域の生活環境構築の技術のモデルとなりえる。琉球、沖縄の独自の社会、文化的条件のもとで築かれた建築文化の発展的継承は、地域固有の条件を尊重しながらも普遍的な空間文化の形成を構想するという課題に応えるものであり、国際観光地域の形成という沖縄地域の目標にも沿っている。これらの課題に対処できる幅広い素養を有する建築技術者を養成する目的で建築学コースを設置する。

#### ○知能情報コース

情報通信関連産業は、観光産業に並ぶ沖縄県のリーディング産業として位置づけられ、沖縄県は産官学をあげてその振興に多大なエネルギーを投入している。情報通信関連産業で最も重要な資源は人材であり本県唯一の学部レベルの情報工学系教育プログラムを持つ学科として既設の情報工学科に大きな期待が寄せられてきた。一方、情報技術の進展は世界規模で社会を変革しつつ、21世紀半ばを待たずに人工知能が知的作業においても人間を超えるのではないかと予測されている。このような状況で今大学に求められているのは、沖縄県はもとより、国内外で21世紀の情報化社会を創造し支えることができる人材を養成することである。このために、コンピュータサイエンスの専門知識と技術に基づいた新たな知的情報処理によるイノベーションにチャレンジできる人材を養成する目的で知能情報コースを設置する。

(5) 入学定員の設定

沖縄県における産業構造及び雇用ニーズや地域ニーズ等のもとより、これまでの教育実施規模（350名）及び沖縄県教育委員会や沖縄県工業連合会との意見交換、さらには沖縄県、沖縄県情報通信関連産業団体連合会、沖縄県建設産業団体連合会等からの要望を踏まえ、夜間主コース（30名）を廃止し、1学科に改組した後の入学定員を350名とする。工学科は下図で示すとおり7コースで構成されており、改組前後の定員配置状況は下図のとおりである。

【旧4学科】

学科名	専門分野
機械システム工学科 昼間主コース(90名) 夜間主コース(20名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械材料</li> <li>・加工学</li> <li>・材料力学</li> <li>・流体力学</li> <li>・熱力学</li> <li>・制御工学</li> </ul>
電気電子工学科 昼間主コース(80名) 夜間主コース(10名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力工学</li> <li>・電力変換</li> <li>・電子材料</li> <li>・電子デバイス</li> <li>・通信工学</li> <li>・制御工学</li> </ul>
環境建設工学科 土木コース(45名) 建築コース(45名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木計画学</li> <li>・構造工学</li> <li>・土木材料学</li> <li>・地盤工学</li> <li>・水工水理学</li> <li>・建築計画</li> <li>・都市計画</li> <li>・建築環境</li> <li>・建築材料・施工</li> <li>・建築構造</li> </ul>
情報工学科(60名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算機システム</li> <li>・信号処理</li> <li>・メディア通信知識情報処理</li> <li>・ロボティクス</li> <li>・知的システム</li> </ul>
現学科（計 350名）	

【新学科－工学科7コース】

コース名	専門分野
機械工学コース (55名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料加工学</li> <li>・応用材料力学</li> <li>・流体工学</li> <li>・熱工学</li> <li>・機械制御</li> </ul>
エネルギー環境工学コース (55名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換工学</li> <li>・流体システム工学</li> <li>・システム設計</li> <li>・材料環境学</li> <li>・システム計測</li> </ul>
電気システム工学コース (45名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力工学</li> <li>・電力変換</li> <li>・電気機器</li> <li>・制御工学</li> <li>・ロボティクス</li> </ul>
電子情報通信コース (45名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子材料・デバイス</li> <li>・電子回路</li> <li>・通信工学</li> <li>・計測工学</li> <li>・計算機工学</li> </ul>
社会基盤デザインコース (45名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会システム計画学</li> <li>・水圏環境工学</li> <li>・地盤環境工学</li> <li>・構造設計工学</li> <li>・建設材料学</li> </ul>
建築学コース (45名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築デザイン・計画</li> <li>・都市計画・地域生活空間</li> <li>・環境工学・建築設備</li> <li>・建築材料・建築生産</li> <li>・建築構造・耐震工学</li> <li>・建築防災工学</li> </ul>
知能情報コース (60名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータサイエンス</li> <li>・情報通信ネットワーク</li> <li>・人工知能</li> </ul>
工学科（350名）	

## II 教育課程編成の考え方・特色

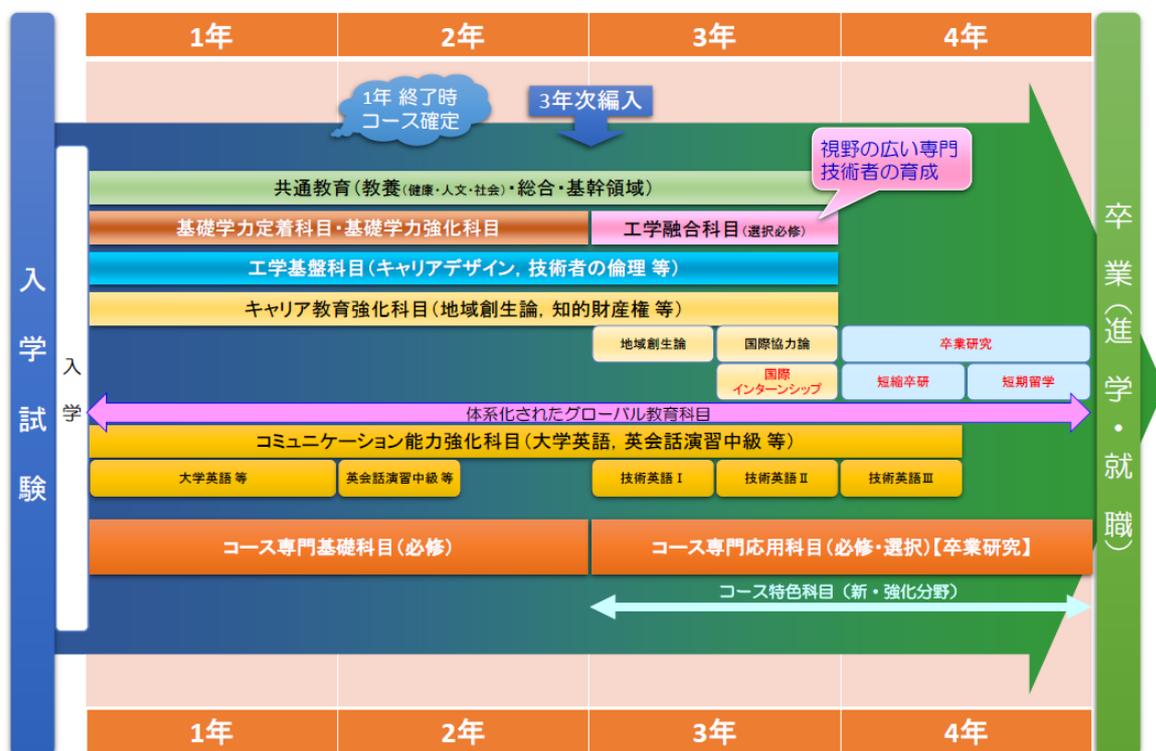
### (1) 教育課程編成の考え方と特色

1学科7コース体制へ移行することによって、幅広い視野を持ち、基礎学力から専門技術力まで体系的に理解できる能力、社会のニーズに対応できる実践力を身につけさせるための体系的なカリキュラム（共通となる学習教育目標の設定、事前・事後学習の明示、評価項目・評価基準の明確化、科目番号の再編、達成度に沿った履修モデル、組織的な履修指導、アクティブラーニング等）を編成することができる。

学修成果の着実な達成を果たすため、共通教育科目、専門基礎科目（基礎学力定着科目）、工学共通科目（基礎学力強化科目、工学基盤科目、キャリア教育強化科目、教職科目）、コース専門科目（コース専門基礎科目、コース専門応用科目）を設定した。さらに、工系の幅広い分野の知識を修得するため所属するコース専門領域だけでなく他コース領域の専門領域の知識を修得できるよう工学融合科目を設定することで、地域課題の解決を図る。これにより、基礎・専門分野の教育を充実し、学生がより幅広い領域の知識を修得する機会を旧教育課程より大幅に拡大することができる。

国際社会に貢献するグローバルな高度専門技術者を育成するため、英語によるコミュニケーション能力強化科目（技術英語、国際協力論、国際インターンシップ等）を設定し、コース専門科目と大学院科目を連携することで体系化した6年間一貫のグローバルエンジニア（GE）プログラムも設定する。

下図に学部4年間の一般プログラムのカリキュラム体系を示しており、工学科入学学生は、初年次から卒業までに各種科目を複合的に組み合わせて履修し、幅広い知識を多面的に獲得すると共に各専門分野において应用能力を身に付けることができる。



本教育課程の特色の一つである主専門分野以外の専門分野を幅広く修得し、複眼的な観点で諸課題を効果的に解決する能力を養うため、下表に示すとおり、主専門分野以外の他コース提供の科目（工学融合科目（導入科目、選択科目））を4単位以上修得する事で複合的に関連する分野にまたがった様々な問題を総合的に解決できる能力を修得させる。

科目群 (提供コース)	ものづくり 技術 (機械工学)	エネルギー 変換と環境 (エネルギー 環境工学)	電気エネルギー の応用 (電気システム 工学)	センシング 技術 (電子情報通 信)	都市デザイ ン技術 (社会基盤デ ザイン)	海底資源開 発・島しょ防 災技術 (社会基盤デ ザイン)	生活環境デザ イン技術 (建築学)	情報システム の設計と開発 (知能情報)
達成目標	ものづくりの基盤となる機械工学の基礎を修得する。	エネルギーの変換や工学的立場からみた環境問題の基礎を修得する。	電気エネルギーの発生と制御のしくみを修得する。	電子工学を基礎とした計測と通信のしくみを修得する。	橋・道路などの都市基盤の計画・設計・施工・維持管理に関する一連の知識を習得する。	島嶼海洋地域における海底資源工学、環境防災工学の基礎を習得する。	地域の気候風土に根差し、国際的視野に立った生活環境デザイン技術を習得する。	コンピュータサイエンスと情報システムの基礎を修得する。
卒業要件	導入科目および選択科目を合わせて <b>4単位以上(卒業要件)</b>							
科目 (下線は導入科目を示す)	材料生産工学概論、熱流体工学概論、機構構造学、亜熱帯資源材料学、流体機械学、熱機関工学	エネルギー変換工学基礎、環境工学概論、エネルギー移動工学、腐食防食工学	電気電子工学基礎、メカトロニクス、パワーエレクトロニクス、制御工学	電気電子工学基礎、通信工学概論、電気電子計測工学Ⅰ、電子デバイス工学	都市地域計画、道路交通計画、橋設計論、プロジェクトマネジメント、維持管理工学、腐食防食と疲労	海底資源工学、地震工学、島嶼環境計画論、基礎流体力学、減災計画、環境衛生工学、火薬学	居住建築概論、建築意匠、都市デザイン演習、耐震設計概論、都市および地方計画、公共計画の技術と理論	コンピュータサイエンス基礎、情報システム開発演習、ネットワークセキュリティ、インターネットアーキテクチャ、知能ロボット、データマイニング
エンジニアリングデザイン演習	3Dプリンターによる製作と評価、金型の設計と製作、海中作業ロボットの開発等	エンジンの原理と設計・製作、ウィンドカーの設計・製作、自然エネルギー利用システムの開発等	チョッパ回路の製作、リニアモーターカーの模型製作、電磁ごまの製作等	気象観測装置の製作、光空間通信、ライトレーサの製作等	島しょ環境における都市地域デザイン、海底資源開発技術および防災・減災デザイン演習。琉球諸島、東アジア全体を俯瞰した都市地域開発、持続発展的な資源開発および防災・減災技術の在り方や解決策について、グループワークを通じて提案・理解する。		亜熱帯島嶼の条件のもとでの、建築物、都市、地域生活環境のプランニングと設計	Webアプリケーション開発、移動ロボット組込みプログラミング、IoTアプリケーション開発、信号処理応用等

## (2) 各コース提供科目の特色

### ○機械工学コース

本コースでは、機械工学の各基幹分野を重点的に教育し、自らの知識、能力で設計・ものづくりができる基礎、これを高めていく自己学習能力を身につけた機械技術者を育成するためのカリキュラムを編成する。

- ① 全学共通教育科目により、多面的で幅広い教養科目を通して、地域、国内、国際社会に関する知識を習得させる。
- ② 専門基礎科目及び工学共通科目（基礎学力強化科目等）においては、機械工学に必要な数学、自然科学に関する基礎知識を習得させる。
- ③ 専門教育科目においては、機械工学の主要科目である、材料力学、機械力学、流体力学、熱力学を学び、ものづくりに関係する科目を初年次から高年次にかけて体系的に修得できるようにしている。この他、グループワークによる実践的な科目を複数開講し、自立したものづくり能力を強化するとともにコミュニケーション能力や問題解決能力を養成する。

### ○エネルギー環境工学コース

本コースでは、エネルギー・環境に配慮したエネルギー源や環境負荷低減技術の開発と利用、および機械工学・電気工学におけるエネルギーの効率的な変換や制御と、環境に配慮した材料などの幅広い専門的な知識を有するとともに、それら複合分野を統合マネジメントし、エネルギー・環境といった総合的な問題に対応できる技術者育成のカリキュラムを編成する。

- ① 全学共通教育科目により、持続可能な社会構築等の多面的視野の重要性や地域や国際社会との関わりを認識させる。
- ② 専門基礎科目及び工学共通科目（基礎学力強化科目等）においては、エネルギー・環境に必要な自然科学に関する基礎知識を習得させる。
- ③ 専門教育科目においては、エネルギーの効率的な変換・制御、および環境に配慮した材料に関する基礎知識を習得させ、これらを活用し、計画性をもって実行・解決するための統合マネジメントおよびコミュニケーション基礎能力を身につけさせる。

### ○電気システム工学コース

本コースでは、電力・エネルギー利用技術とシステム制御技術を基盤とし、これらの技術を応用することにより、現代社会の基盤を形成する電気システムインフラを維持・管理していくことができる人材を養成するため、電力工学、エネルギー変換工学、メカトロニクス、制御工学、システム工学、組込みシステム等、電力エネルギー工学ならびにシステム制御工学に関する専門的知識と技術を身につけさせるためのカリキュラムを編成する。

- ① 全学共通教育科目により、地域に根ざした歴史や文化、多様な価値観を理解し、国際的・多角的に物事を考える能力を身につける。
- ② 専門基礎科目及び工学共通科目（基礎学力強化科目等）においては、自然科学、数学等の技術者としての基礎知識・能力を習得させる。
- ③ 専門教育科目においては、低学年次において数学、電磁気学、回路理論など、電気電子工学の基礎を習得させる。高学年次においては、電力エネルギー系とシステム制御系に関する専門科目群を体系的に提供し、これらの知識を活用した実験や卒業研究を通して問題解決能力を習得させる。

#### ○電子情報通信コース

本コースでは、今日の高度ICT社会の基盤である電気電子、情報通信工学に関する基礎知識を有し、さらに太陽電池やセンサー、パワーデバイスなどの高機能デバイス、新機能性材料、光ファイバー、無線通信、リモートセンシングなどの専門知識を有するとともに、それらの知識を活用して、様々な技術的課題や新規産業創出に対応できる技術者を育成するためのカリキュラムを編成する。

- ① 全学共通教育科目により、地域に根ざした歴史や文化、多様な価値観を理解し、国際的・多角的に物事を考える能力を身につける。
- ② 専門基礎科目及び工学共通科目（基礎学力強化科目等）においては、自然科学、数学等の技術者としての基礎知識・能力を習得させる。
- ③ 専門教育科目においては、電気電子通信技術者としての基礎知識・能力を習得させる。技術者としての倫理観、自主学習能力、コミュニケーション能力を身につけ、これらの知識能力を用いて問題解決能力を獲得させる。

#### ○社会基盤デザインコース

本コースでは、安全・安心・快適な社会基盤のデザイン構築に寄与するとともに、環境共生や社会資本の長寿寿命化などの社会的・技術的ニーズに対応できる技術者を養成するため、全学共通教育科目、専門基礎科目及び専門教育科目を組み合わせたカリキュラムを編成する。また、沖縄の地域特性を活用した教育・研究を推進し、琉球諸島から世界へ貢献できる技術の開発と人材を育成する。

- ① 全学共通教育科目により、持続可能な社会構築などの多面的視野の重要性や地域や国際社会との関わりを認識させる。
- ② 専門基礎科目及び工学共通科目（基礎学力強化科目等）においては、社会の基盤を総合的にデザインするために必要な自然科学に関する基礎知識を習得させる。
- ③ 専門教育科目においては、実験・実習科目によって基礎知識を習得させる。さらに、社会の基盤を総合的にデザインするために必要な専門的知識の習得、それらを活用し、計画性をもって実行し、問題解決するための統合マネジメントおよびコミュニケーション基礎能力を習得させる。

#### ○建築学コース

本コースでは、自然、社会、文化に関する幅広い素養を身に付けるための教養教育、コミュニケーション能力と目的達成のための基礎的能力を習得するための学科共通教育の上に、建築計画、都市・地域計画、建築環境、建築材料、建築構造、防災工学の各分野の専門的技術を身に付け、建築技術者の社会的責務と倫理を理解した総合的な能力を有する技術者育成のカリキュラムを編成する。

- ① 全学共通教育科目により、自然、社会、文化に関わる多面的視野の重要性や地域や国際社会との関わりを認識させるとともに、コミュニケーション能力の基礎を修得させる。
- ② 専門基礎科目及び工学共通科目（基礎学力強化科目等）においては、建築学に必要な自然科学に関する基礎知識を習得させる。
- ③ 専門科目においては、建築計画、都市・地域計画、建築環境、建築材料、建築構造、防災工学の各分野の専門的技術、建築技術者の社会的責務と倫理を修得し、それらを総合的に関連のもとで実現する建築物、地域生活環境形成を企画、設計、施工できる技術者育成のカリキュラムを編成する。

#### ○知能情報コース

本コースのカリキュラムは、情報処理学会が提唱する情報工学系学部におけるコンピュータサイエンス・カリキュラムをベースに人工知能の基礎科目群を加えたものである。また県内の情報通信関連企業等から要望の強い、チーム開発のスキルと英語運用能力、および情報セキュリティ、データサイエンスに関する専門知識を備えた人材の養成を考慮したものになっている。

- ① 全学共通教育科目により、持続可能な社会構築等の多面的視野の重要性、地域や国際社会との関わりを認識させる。
- ② 専門基礎科目及び工学共通科目（基礎学力強化科目等）により、知能情報分野を継続的に学ぶために必要な数学、自然科学に関する基礎知識を習得させる。
- ③ 専門教育科目においては、専門知識のみならず、自律性、チームワーク力、コミュニケーション能力を身につけさせるために、課題解決能力を養成するためのPBL演習を実施する。さらに英語運用能力を高めるために、専門科目としての実践的な外国語科目を提供する。

#### (3) コース（プログラム）選択・決定のプロセス

学部4年間に於いて学生の履修目的や履修動機が様々な知識獲得や学習経験に伴い変化する可能性があり、入学学生が当初希望していた専門分野を大学生活中に変更する可能性がある。そのようなコース選択の自由度を学生へ提供するため、工学科では先ず1年次の入学段階で全学生の希望と入学成績に基づき各コースへ仮配属する。ただし、入学した学生には「キャリアデザイン入門（1年次）」を履修（必修）させ、1年間の大学生活を通して学生自身の将来の進路を学生自身で確認（認識）させる。2年次開始直前に最終的なコースを決定するが、その振り分けは学生の希望と1年次における学業成績を考慮して決定する。

2年次開始以降においても、決定されたコースの変更を学生が希望する可能性も生じる。そこで本学科においては、転コース制度を導入する。転コースを行っても、標準修業年限で卒業できるように、一定の範囲内で、それまで修得した専門基礎科目、工学共通科目を卒業単位として認定する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業時間	9 0 分
<p>○機械工学コース (卒業要件)</p> <p>(1) 共通教育科目30単位以上 (必修 6単位、選択24単位以上)  教養領域および総合領域・・・16単位以上  (健康運動系を除き14単位以上、人文系、社会系、総合および琉大特色で合計12単位以上)  健康運動系・・・2単位以上  人文系・・・2単位以上  社会系・・・2単位以上  自然系・・・指定単位なし  総合および琉大特色・・・2単位以上</p> <p>基幹領域・・・14単位以上  情報関係・・・2単位以上 (日本語表現法入門 (2単位) は必修)  外国語・・・12単位以上 (英語12単位以上または英語8単位以上・他の一つの外国語4単位以上。  いずれの場合も大学英語 (4単位) は必修)</p> <p>(2) 専門基礎科目11単位以上 (必修11単位)  (3) 専門教育科目89単位以上 (必修64単位 (工学共通25単位、コース専門39単位)、  選択25単位以上 (工学共通及びコース専門21単位以上、工学融合科目4単位以上))</p> <p><u>合計130単位以上</u> (履修方法)</p> <p>1. 共通教育科目については、教養領域および総合領域の合計が16単位以上、基幹領域 (日本語表現法入門、大学英語は必修) の合計が14単位以上となるように履修すること。  2. 他コース専門科目から修得した単位は6単位まで選択科目として卒業単位に含めることができる。</p> <p>○エネルギー環境工学コース (卒業要件)</p> <p>(1) 共通教育科目30単位以上 (必修 6単位、選択24単位以上)  教養領域および総合領域・・・16単位以上  (健康運動系を除き14単位以上、人文系、社会系、総合および琉大特色で合計12単位以上)  健康運動系・・・2単位以上  人文系・・・2単位以上  社会系・・・2単位以上  自然系・・・指定単位なし  総合および琉大特色・・・2単位以上</p> <p>基幹領域・・・14単位以上  情報関係・・・2単位以上 (日本語表現法入門 (2単位) は必修)  外国語・・・12単位以上 (英語12単位以上または英語8単位以上・他の一つの外国語4単位以上。  いずれの場合も大学英語 (4単位) は必修)</p> <p>(2) 専門基礎科目14単位以上 (必修14単位)  (3) 専門教育科目86単位以上 (必修59単位 (工学共通27単位、コース専門32単位)、  選択27単位以上 (工学共通及びコース専門23単位以上、工学融合科目4単位以上))</p> <p><u>合計130単位以上</u> (履修方法)</p> <p>1. 共通教育科目については、教養領域および総合領域の合計が16単位以上、基幹領域 (日本語表現法入門、大学英語は必修) の合計が14単位以上となるように履修すること。  2. 他コース専門科目から修得した単位は6単位まで選択科目として卒業単位に含めることができる。</p>		

○電気システム工学コース

(卒業要件)

(1) 共通教育科目30単位以上 (必修10単位、選択20単位以上)

教養領域および総合領域・・・16単位以上

(健康運動系を除き14単位以上、人文系、社会系、総合および琉大特色で合計12単位以上)

健康運動系・・・2単位以上

人文系・・・2単位以上

社会系・・・2単位以上

自然系・・・指定単位なし

総合および琉大特色・・・2単位以上

基幹領域・・・14単位以上

情報関係・・・2単位以上 (日本語表現法入門 (2単位) は必修)

外国語・・・12単位以上 (英語12単位以上または英語8単位以上・他の一つの外国語4単位以上。

いずれの場合も大学英語(4単位)、英語講読演習中級(2単位)、英語

プレゼンテーション中級(2単位)は必修)

(2) 専門基礎科目10単位以上 (必修10単位)

(3) 専門教育科目90単位以上 (必修55単位 (工学共通28単位、コース専門27単位)、  
選択35単位以上 (工学共通及びコース専門31単位以上、工学融合科目4単位以上))

合計130単位以上

(履修方法)

1. 共通教育科目については、教養領域および総合領域の合計が16単位以上、基幹領域 (日本語表現法入門、大学英語、英語講読演習中級、英語プレゼンテーション中級は必修) の合計が14単位以上となるように履修すること。
2. 電子情報通信コース専門科目から修得した単位は16単位まで選択科目として卒業単位に含めることができる。
3. 電子情報通信コースを除く他コース専門科目から修得した単位は6単位まで選択科目として卒業単位に含めることができる。

○電子情報通信コース

(卒業要件)

(1) 共通教育科目30単位以上 (必修10単位、選択20単位以上)

教養領域および総合領域・・・16単位以上

(健康運動系を除き14単位以上、人文系、社会系、総合および琉大特色で合計12単位以上)

健康運動系・・・2単位以上

人文系・・・2単位以上

社会系・・・2単位以上

自然系・・・指定単位なし

総合および琉大特色・・・2単位以上

基幹領域・・・14単位以上

情報関係・・・2単位以上 (日本語表現法入門 (2単位) は必修)

外国語・・・12単位以上 (英語12単位以上または英語8単位以上・他の一つの外国語4単位以上。

いずれの場合も大学英語(4単位)、英語講読演習中級(2単位)、英語

プレゼンテーション中級(2単位)は必修)

(2) 専門基礎科目10単位以上 (必修10単位)

(3) 専門教育科目90単位以上 (必修55単位 (工学共通28単位、コース専門27単位)、  
選択35単位以上 (工学共通及びコース専門31単位以上、工学融合科目4単位以上))

合計130単位以上

(履修方法)

1. 共通教育科目については、教養領域および総合領域の合計が16単位以上、基幹領域 (日本語表現法入門、大学英語、英語講読演習中級、英語プレゼンテーション中級は必修) の合計が14単位以上となるように履修すること。
2. 電気システム工学コース専門科目から修得した単位は16単位まで選択科目として卒業単位に含めることができる。
3. 電気システム工学コースを除く他コース専門科目から修得した単位は6単位まで選択科目として卒業単位に含めることができる。

○社会基盤デザインコース

(卒業要件)

(1) 共通教育科目30単位以上 (必修 6単位、選択24単位以上)

教養領域および総合領域・・・16単位以上

(健康運動系を除き14単位以上、人文系、社会系、総合および琉大特色で合計12単位以上)

健康運動系・・・2単位以上

人文系・・・2単位以上

社会系・・・2単位以上

自然系・・・指定単位なし

総合および琉大特色・・・2単位以上

基幹領域・・・14単位以上

情報関係・・・2単位以上 (日本語表現法入門 (2単位) は必修)

外国語・・・12単位以上 (英語12単位以上または英語8単位以上・他の一つの外国語4単位以上。

いずれの場合も大学英語 (4単位) は必修)

(2) 専門基礎科目 4単位以上

(3) 専門教育科目96単位以上 (必修58.5単位 (工学共通21単位、コース専門37.5単位)、  
選択37.5単位以上 (工学共通及びコース専門33.5単位以上、工学融合科目4単位以上))

合計130単位以上

(履修方法)

1. 共通教育科目については、教養領域および総合領域の合計が16単位以上、基幹領域 (日本語表現法入門、大学英語は必修) の合計が14単位以上となるように履修すること。

2. 他コース専門科目から修得した単位は6単位まで選択科目として卒業単位に含めることができる。

○建築学コース

(卒業要件)

(1) 共通教育科目30単位以上 (必修 6単位、選択24単位以上)

教養領域および総合領域・・・16単位以上

(健康運動系を除き14単位以上、人文系、社会系、総合および琉大特色で合計12単位以上)

健康運動系・・・2単位以上

人文系・・・2単位以上

社会系・・・2単位以上

自然系・・・指定単位なし

総合および琉大特色・・・2単位以上

基幹領域・・・14単位以上

情報関係・・・2単位以上 (日本語表現法入門 (2単位) は必修)

外国語・・・12単位以上 (英語12単位以上または英語8単位以上・他の一つの外国語4単位以上。

いずれの場合も大学英語 (4単位) は必修)

(2) 専門基礎科目8単位以上 (必修8単位)

(3) 専門教育科目92単位以上 (必修62単位 (工学共通13単位、コース専門49単位)、  
選択30単位以上 (工学共通及びコース専門26単位以上、工学融合科目4単位以上))

合計130単位以上

(履修方法)

1. 共通教育科目については、教養領域および総合領域の合計が16単位以上、基幹領域 (日本語表現法入門、大学英語は必修) の合計が14単位以上となるように履修すること。

2. 他コース専門科目から修得した単位は10単位まで選択科目として卒業単位に含めることができる。

○知能情報コース

(卒業要件)

(1) 共通教育科目30単位以上 (必修8単位、選択22単位以上)

教養領域および総合領域・・・16単位以上

(健康運動系を除き14単位以上、人文系、社会系、総合および琉大特色で合計12単位以上)

健康運動系・・・・・・・・・・2単位以上

人文系・・・・・・・・・・2単位以上

社会系・・・・・・・・・・2単位以上

自然系・・・・・・・・・・指定単位なし

総合および琉大特色・・・・・・・・2単位以上

基幹領域・・・・・・・・14単位以上

情報関係・・・・・・・・2単位以上 (日本語表現法入門 (2単位) は必修)

外国語・・・・・・・・12単位以上 (英語12単位以上または英語8単位以上・他の一つの外国語4単位以上。  
いずれの場合も大学英語 (4単位)、英語講読演習中級 (2単位) は必修)

(2) 専門基礎科目 8単位以上 (必修 8単位)

(3) 専門教育科目92単位以上 (必修56単位 (工学共通25単位、コース専門31単位)、  
選択36単位以上 (工学共通及びコース専門32単位以上、工学融合科目4単位以上))

合計130単位以上

(履修方法)

1. 共通教育科目については、教養領域および総合領域の合計が16単位以上、基幹領域 (日本語表現法入門、大学英語、英語講読演習中級は必修) の合計が14単位以上となるように履修すること。

2. 他コース専門科目及び他学部専門科目から修得した単位は合わせて16単位までを選択科目として卒業単位に含めることができる。ただし、そのうち他学部専門科目は10単位までとする。

(履修科目の登録の上限：40単位 (年間))

## 教育課程等の概要 (事前伺い)

### 全学共通科目 (全学科共通) 【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養領域	人間と哲学の知	1・2・3・4		2		○									兼2
	人間と世界	1・2・3・4		2		○									兼2
	思考の論理入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	思考の論理	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋思想とインドの思想	1・2・3・4		2		○									兼2
	西洋思想と日本・中国の思想	1・2・3・4		2		○									兼1
	生き方の探究	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	環境の哲学	1・2・3・4		2		○									兼2
	心の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の科学	1・2・3・4		2		○									兼9
	人間関係論	1・2・3・4		2		○									兼8
	心の実験室	1・2・3・4		2		○									兼1
	アジアの人生観	1・2・3・4		2		○									兼1
	科学技術の倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	生命倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	「私」の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と宗教	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間観と教育	1・2・3・4		2		○									兼1
	近代日本の社会と表現	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本古典文学の世界	1・2・3・4		2		○									兼2
	文学の楽しみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	小説の社会学	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばの生態	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばの構造と意味	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語のはたらき	1・2・3・4		2		○									兼1
	中国古典文学の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	20世紀の中国文学	1・2・3・4		2		○									兼2
	アメリカの文学と社会の誕生	1・2・3・4		2		○									兼1
	アメリカの文学と近代社会	1・2・3・4		2		○									兼1
	歴史を掘る	1・2・3・4		2		○									兼1
	東洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼2
	西洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼2
	日本の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	朝鮮の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼2
	考古学入門	1・2・3・4		2		○									兼2
	宗教と世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	音楽の世界	1・2・3・4		2		○									兼4
	美術の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	オーケストラの楽しみ	1・2・3・4		2				○							兼1
	コーラル・アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4		2				○							兼1
楽しく学ぶギター弾き語り I	1・2・3・4		2				○							兼1	
楽しく学ぶギター弾き語り II	1・2・3・4		2				○							兼1	
ステージスタッフ総合活動	1・2・3・4		2				○							兼1	
美術って何?	1・2・3・4		2		○									兼2	
美術と社会	1・2・3・4		2		○									兼1	
色彩の世界	1・2・3・4		2		○									兼1	
陶芸の世界	1・2・3・4		2		○									兼1	
比較思想文化論	1・2・3・4		2		○									兼1	

		日本語研究入門	1・2・3・4	2	○														兼1	
		人文系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○														兼1	
		人文系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○														兼1	
		法と社会	1・2・3・4	2	○														兼4	
		憲法概論	1・2・3・4	2	○														兼12	
		現代政治の課題	1・2・3・4	2	○														兼2	
		日本の政治	1・2・3・4	2	○														兼3	
		戦争と平和の諸問題	1・2・3・4	2	○														兼3	
		地域と生活	1・2・3・4	2	○														兼1	
		現代社会のしくみ	1・2・3・4	2	○														兼5	
		マスコミと社会	1・2・3・4	2	○														兼1	
		人類文化の比較	1・2・3・4	2	○														兼7	
		消費者の自立	1・2・3・4	2	○														兼1	
	社会系科目	現代経済のしくみ	1・2・3・4	2	○														兼5	
		経済の歴史	1・2・3・4	2	○														兼2	
		現代経営のしくみ	1・2・3・4	2	○														兼3	
		現代流通のしくみ	1・2・3・4	2	○														兼1	
		情報メディアと創造性	1・2・3・4	2	○														兼1	
		現代会計のしくみ	1・2・3・4	2	○														兼6	
		グローバル化の政治経済構造	1・2・3・4	2	○														兼1	
		現代経済の諸問題	1・2・3・4	2	○														兼2	
		大学教育論	1・2・3・4	2	○														兼1	
		教育政策史	1・2・3・4	2	○														兼1	
		ベンチャー起業入門	1・2・3・4	2	○														兼1	
		ベンチャー起業実践	1・2・3・4	2	○														兼1	
		社会系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○														兼1	
		社会系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○														兼1	
教養領域		自然系科目	大気科学	1・2・3・4	2	○														兼2
			地球科学	1・2・3・4	2	○														兼3
			海洋科学	1・2・3・4	2	○														兼5
	宇宙科学		1・2・3・4	2	○														兼2	
	科学の光と影		1・2・3・4	2	○														兼1	
	統計と社会		1・2・3・4	2	○														兼2	
	数理の構造		1・2・3・4	2	○														兼3	
	数の文化		1・2・3・4	2	○														兼2	
	時間と空間		1・2・3・4	2	○														兼1	
	人間と物理学		1・2・3・4	2	○														兼2	
	生活の化学		1・2・3・4	2	○														兼1	
	分子の世界		1・2・3・4	2	○														兼2	
	生物の生活		1・2・3・4	2	○														兼3	
	生命の科学		1・2・3・4	2	○														兼4	
	パースの世界		1・2・3・4	2	○		○												兼1	
	都市環境と計画		1・2・3・4	2	○														兼1	
	ランドスケープ論		1・2・3・4	2	○														兼4	
	環境デザイン論		1・2・3・4	2	○														兼1	
	地球環境と科学技術		1・2・3・4	2	○														兼1	
	天体観測を通して学ぶ宇宙		1・2・3・4	2	○														兼1	
	自然環境と土木工学		1・2・3・4	2	○														兼1	
	生物資源利用とサイエンス		1・2・3・4	2	○														兼1	
	食料・農村・環境概論		1・2・3・4	2	○														兼1	
ヒトの健康科学	1・2・3・4	2	○														兼1			
自然系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○														兼1			
自然系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○														兼1			
健康	健康・スポーツ科学	1・2・3・4	2	○														兼5		
	運動・スポーツ科学演習	1・2・3・4	2	○		○												兼64		
総合領域	一般総合	脳の発達と人間	1・2・3・4	2	○													兼1		
		認識の仕組み	1・2・3・4	2	○													兼1		
		環太平洋地域の文化	1・2・3・4	2	○													兼1		
		ヨーロッパの文化と社会	1・2・3・4	2	○													兼1		

	ヨーロッパの歴史と伝統	1・2・3・4	2	○																兼1		
	アメリカの文化と社会	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	現代青年の心とその病理	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	科学と社会	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	住まいの科学	1・2・3・4	2	○																	兼3	
	環境の保全	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	環境問題	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	熱帯の科学	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	情報科学概論	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	ヒトの科学と人間の医学	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	動物実験の基礎	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	生命科学入門	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	大学とは何かー大学の自治と大学人の責任を考えるー	1・2・3・4	4	○																	兼1	
	先端情報工学概論	2・3・4	4	○																	兼2	
	死と哲学の知	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	科学と擬似科学	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	キャリア概論	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	人口と食糧	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	ボランティア入門	2・3・4	2	○																	兼1	
	職業と人生	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	囲碁の世界	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	災害と安全	1・2・3・4	2	○																	兼2	
	生活空間のビジョン	1・2・3・4	2		○																兼1	
	地域企業（自治体）お題解決プログラム	1・2・3・4	2	○																	兼2	
総合領域	一般総合科目																					
	若者の雇用環境	2・3	2	○																	兼2	
	キャリア形成入門	1・2	2	○																	兼8	
	ボランティア体験学習	1・2・3・4	2			○															兼1	
	キャリアと学生生活	1・2・3・4	2	○																	兼1	
	環境インターンシップ	2・3・4	2			○															兼1	
	総合環境学概論	2・3・4	2	○																	兼1	
	エンカレッジメントー大学の学びと未来ー	2・3・4	2	○																	兼1	
	生活習慣病予防および健康増進	1・2・3・4	2			○																兼1
	大学で何を学ぶか	1・2・3・4	2	○																		兼1
	観光への扉～観光学入門	1・2・3・4	2	○																		兼1
	海外文化研修A（英語圏）	2・3・4	2				○															兼1
	海外文化研修B（中国語圏）	2・3・4	2				○															兼1
	海外文化研修C（スペイン語圏）	2・3・4	4				○															兼1
	海外文化研修D（フランス語圏）	2・3・4	4				○															兼1
	海外文化研修E（ドイツ語圏）	2・3・4	4				○															兼1
	環境と文学	1・2・3・4	2	○																		兼1
	現代アジア論	1・2・3・4	2	○																		兼1
	女性と社会	1・2・3・4	2	○																		兼2
	異文化コミュニケーション入門	1・2・3・4	2	○																		兼1
キャリアデザインとジェンダー	1・2・3・4	2	○																		兼1	
地域システム計画論	1・2・3・4	2	○																		兼1	
情報セキュリティ概論	1・2・3・4	2	○																		兼1	
環境エネルギー計画	1・2・3・4	2	○																		兼1	
環境影響評価概論	1・2・3・4	2	○																		兼1	
大学間共同授業	1～2	2	○																		兼1	
総合特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○																		兼1	
総合特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○																		兼1	
総合特別講義Ⅲ	1・2・3・4	2	○																		兼1	
高年次総合	現代社会の課題ー21世紀への挑戦ー	3・4・5・6	2	○																	兼1	
	倫理総合討論	3・4・5・6	2	○																		兼2
	地震と防災	3・4・5・6	2	○																		兼1
	大学と産業の振興	3・4・5・6	2	○																		兼1
	総合環境論	3・4・5・6	2	○																		兼1
キャリアデザイン実践	3・4・5・6	2	○																		兼1	

※実習





## 教育課程等の概要(事前伺い)

## 機械システム工学科(昼間主コース)【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微分積分学S T (スタンダードコース) I	1前	2			○									兼1
	微分積分学S T (スタンダードコース) II	1後	2			○									兼1
	微分積分学入門 I	1前		2		○									兼1
	微分積分学入門 II	1後		2		○									兼1
	物理学 I	1前	2			○									兼1
	物理学 II	1後	2			○									兼1
	物理学入門 I	1前		2		○									兼1
	物理学入門 II	1後		2		○									兼1
	物理学実験	1前	1					○							兼1
	化学 I	1前			2	○									兼1
	化学 II	1後			2	○									兼1
	化学入門 I	1前		2		○									兼1
	化学入門 II	1後			2	○									兼1
	化学実験	1後			1			○							兼1
小計 (14科目)		—	11	8	7	—									兼14
工学共通科目	職業指導	3・4		2		○									兼1
	総合演習A	3・4		2		○			1						
	情報産業論	3・4		2		○			1						
	科学技術史	3・4		2		○			1						
	安全工学	3・4		2		○			1						
	品質管理	3・4		2		○			1						
	工業所有権法	3・4		2		○			1						
	経営工学概論	3・4		2		○									兼1
	産業社会学原論 I	3・4		2		○									兼7
	産業社会学原論 II	3・4		2		○			1						オムニバス
	企業研修	3前		2				○	1						オムニバス
	企業実習	3前		2				○	1						オムニバス
	Frontiers of Engineering	1・2・3・4後		2		○			1						オムニバス
小計 (13科目)		—	0	26	0	—		10							兼9
専門科目	基礎数学 I	1前・後			1		○						1		
	基礎数学 II	1前			1		○						1		
	基礎数学 III	1後			1		○						1		
	機械基礎工学	1前	2			○	○		5	5			5		
	線形代数学	1前	2			○			1	1					
	工業数学 I	1後	2			○			1	1					
	工業数学 II	2前	2			○			1						
	工業数学 III	2後		2		○			1						
	確率及び統計	2後	2			○			1						
	工業力学	1後	2			○				2					
	基礎製図	1後	1.5					○	1	2			3		
	材料力学 I	2前	2			○			1						
	材料力学 II	2後	2			○			1						
	材料加工学 I	2前	2			○			2						
	材料加工学 II	2後		2		○			1						
	機械材料 I	2前	2			○			1						
	機械材料 II	2後		2		○				1					※実習
	材料加工学実習	2前	1.5					○	1				1		
	流体力学 I	2前	2			○			2						
流体力学 II	2後	2			○			2							
熱力学 I	2前	2			○			1							



教育課程等の概要(事前伺い)

機械システム工学科(夜間主コース)【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微分積分学 S T (スタンダードコース) I	1前	2			○									兼1
	微分積分学 S T (スタンダードコース) II	1後	2			○									兼1
	微分積分学入門 I	1前		2		○									兼1
	微分積分学入門 II	1後		2		○									兼1
	物理学 I	1前	2			○									兼1
	物理学 II	1後	2			○									兼1
	物理学入門 I	1前		2		○									兼1
	物理学入門 II	1後		2		○									兼1
	物理学実験	1前			1			○							兼1
	化学 I	1前			2	○									兼1
	化学 II	1後			2	○									兼1
	化学入門 I	1前	2			○									兼1
	化学入門 II	1後			1	○									兼1
	化学実験	1後			1			○							兼1
小計 (14科目)		—	10	8	7	—									兼14
専門科目	基礎数学 I	1前			1		○								
	基礎数学 II	1後			1		○								
	機械工学概論	1前	2			○			5						
	線形代数学	1前		2		○			1						
	工業数学 I	1後	2			○				1					
	工業数学 II	2前	2			○			1						
	工業数学 III	2後		2		○			1						
	工業力学	1後	2			○				1					
	基礎製図	1後	1.5					○	1				1		
	材料力学 I	2前	2			○			1						
	材料力学 II	2後		2		○					1				
	材料加工学 I	2前	2			○			1						
	材料加工学 II	2後		2		○					1				
	機械材料 I	2前	2			○			1						
	機械材料 II	2後		2		○					1				※実習
	材料加工学実習	2後	1.5					○	1				1		
	流体力学 I	2前	2			○					1				
	流体力学 II	2後	2			○					1				
	熱力学 I	2前	2			○					1				
	熱力学 II	2後		2		○			1						
	計測工学	2後	2			○					1				
	基礎制御工学 I	2後	2			○					1				
	基礎制御工学 II	3前		2		○					1				
	プログラミング	3		2		○				1					※演習
	機械要素設計学	3前	2			○					1				
	溶接工学	3前		2		○				1					
	表面・界面工学	3前		2		○					1				
	高分子合成論	3後		2		○				1					
	流体機械学 I	3前		2		○					1				
	流体機械学 II	3後		2		○					1				
理想流体力学	3後		2		○					1					
伝熱工学	3前		2		○					1					
熱機関工学	3前		2		○					1					
蒸気工学	3後		2		○				1						
機械力学	3前		2		○				1						

専 門 科 目	機械運動学	3後		2	○			1						
	現代制御理論	3後		2	○				1					
	機械設計製図Ⅰ	3前	1.5			○			1					
	機械設計製図Ⅱ	3後	1.5			○			1					
	機械工学実験Ⅰ	3前	1.5				○		3			3		
	機械工学実験Ⅱ	3後	1.5				○		5			5		
	技術者の倫理	3後		2	○			3						
	現業実習	3前		2			○							集中
	材料力学Ⅲ	4前		2	○			1						
	弾性力学Ⅰ	4前		2	○				1					
	弾性力学Ⅱ	4後		2	○				1					
	粘性流体力学	4前		2	○			1						
	圧縮性流体力学	4前		2	○			1						
	電気工学概論	3・4前		2	○			3						
	環境熱移動学	3・4		2	○			1						
	統計的制御理論	3・4		2	○			1						
	制御機器	3・4		2	○					1				
	メカトロニクス工学	3・4		2	○					1				
	塑性加工学	3・4		2	○			1						
	工作機械	3・4		2	○			1						
	熱交換器設計法	3・4		2	○					1				
	冷凍工学	3・4		2	○			1						
	油空圧工学	3・4		2	○			1						
	品質管理	3・4		2	○			1						
	卒業研究	4通		6		○		11	11			11		
	小計 (60科目)			41	76		—	11	11	0	11			兼0
	合計 (74科目)			41	76	0		11	11	0	11			兼14
	学位又は称号		学士 (工学)		学位又は学科の分野			工学関係						

教育課程等の概要(事前伺い)														
工学部電気電子工学科(昼間主コース)【既設】														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○								兼1
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○								兼1
	微分積分学入門I	1前			2	○								兼1
	微分積分学入門II	1後			2	○								兼1
	物理学I	1前	2			○								兼1
	物理学入門I	1前			2	○								兼1
	物理学実験	1前	1					○						兼1
	化学入門I	1前	2			○								兼1
	化学実験	1後	1					○						兼1
	小計(9科目)	—	—	10	0	6	—	—	—	0	0	0	0	0
工学共通科目	職業指導	3・4		2		○								兼1
	総合演習C	3・4		2		○			1					
	情報産業論	3・4		2		○			1					
	科学技術史	3・4		2		○			1					
	安全工学	3・4		2		○			1					
	品質管理	3・4		2		○			1					
	工業所有権法	3・4		2		○			1					
	経営工学概論	3・4		2		○								兼1
	産業社会学原論I	3・4		2		○								兼7 オムニバス
	産業社会学原論II	3・4		2		○			1					オムニバス
	企業研修	3前		2				○	1					
	企業実習	3前		2				○	1					
	Frontiers of Engineering	1・2・3・4後		2		○			1					オムニバス
小計(13科目)	—	—	0	26	0	—	—	—	9	0	0	0	0	兼9
専門科目	電気数学I	1前	2			○				1				
	基礎数学	1前		1			○							兼1
	電気電子工学概論I	1前		2		○				1				
	電気数学II	1後	2			○				1				
	電磁気学I	1後	2			○				1				※演習
	回路理論I	1後	2			○			1					※演習
	応用力学	1後	2			○			1					
	プログラミング演習	1後	2			○				2				※演習
	電気電子工学概論II	1後		1			○			2				
	電気数学III	2前	2			○			1					
	電気数学IV	2前	2			○				1				
	電磁気学II	2前	2			○			1					※演習
	電磁気学III	2前	2			○			1					※演習
	回路理論II	2前	2			○				1				※演習
	電気電子計測工学I	2前	2			○			1					
	情報数学	2前		2		○			1					
	確率及び統計	2前		2		○								兼1
	電磁気学IV	2後	2			○			1					※演習
	回路理論III	2後	2			○				1				※演習
	回路理論IV	2後	2			○				1				※演習
	電子回路I	2後	2			○				2				
	電気基礎実験	2後	1.5					○				3		
電子計算機I	2後		2		○			1						
電気電子計測工学II	2・3後		2		○				1					
技術者の倫理	3前	2			○			1						
電気電子システム工学実験I	3前	1.5					○					3		

専 門 科 目	電気電子システム工学実験Ⅱ	3後	1.5				○				3			
	現業実習Ⅰ	2・3前・後	1				○	1						
	現業実習Ⅱ	2・3前・後	1				○	1						
	機械工学概論	3前	2		○			1						
	プログラミング応用	3後	2		○			1						
	数値解析	3・4後	2		○				1					
	電力工学実験	4前	1.5				○				2	選必		
	電子・システム工学実験	4前	1.5				○				2	選必		
	セミナー	4通	2			○		10	9		6			
	卒業研究	4通	6			○		10	9		6			
	特別講義Ⅰ	3・4前・後	2		○							兼1	集中	
	特別講義Ⅱ	3・4前・後	2		○							兼1	集中	
	特別講義Ⅲ	3・4前・後	2		○							兼1	集中	
	特別講義Ⅳ	3・4前・後	2		○							兼1	集中	
	特別講義Ⅴ	3・4前・後	2		○							兼1	集中	
	特別講義Ⅵ	3・4前・後	2		○							兼1	集中	
	電気機器Ⅰ	2後	2		○					1				
	エネルギー変換工学	3前	2		○				1					
	電力工学Ⅰ	3前	2		○				1					
	電気電子材料	3前	2		○					1				
	電気機器設計製図	3・4前	2		○				1				隔年	
	電気法規及び施設管理	3・4前	1		○							兼1		
	電気機器Ⅱ	3後	2		○				1					
	パワーエレクトロニクス	3後	2		○				1					
	電気応用工学	3後	2		○					1				
	電力工学Ⅱ	3・4後	2		○				1				隔年	
	電力系統工学	3・4後	2		○					1			隔年	
	電子デバイス工学Ⅰ	2後	2		○				1					
	電子物性工学Ⅰ	3前	2		○				1					
	量子力学Ⅰ	3前	2		○				1					
	電子デバイス工学Ⅱ	3・4前	2		○				1					
	電子回路Ⅱ	3・4前	2		○				1					
	電子デバイス材料工学	3後	2		○				1	1				
	電子物性工学Ⅱ	3・4後	2		○				1					
	量子力学Ⅱ	3・4後	2		○					1				
	電子回路Ⅲ	3・4後	2		○				1					
	情報理論	2後	2		○				1					
	電磁波工学	3前	2		○					1				
	通信工学Ⅰ	3・4前	2		○				1					
	光伝送工学	3・4前	2		○				1					
	デジタル信号処理	3・4前	2		○					1				
	システム工学Ⅰ	3・4前	2		○					1				
	制御工学Ⅰ	3・4前	2		○					1				
	電子計算機Ⅱ	3・4前	2		○				1					
	通信工学Ⅱ	3・4後	2		○					1				
	電気通信関係法規	3・4後	2		○							兼1		
	システム工学Ⅱ	3・4後	2		○					1				
	制御工学Ⅱ	3・4後	2		○					1				
	小計(75科目)	—	49.5	95	0	—			10	9	0	6	0	兼10
	合計(96科目)	—	59.5	121	6	—			10	9	0	6	0	兼28
	学位又は称号	学士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係							

教育課程等の概要(事前伺い)														
工学部電気電子工学科(夜間主コース)【既設】														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○								兼1
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○								兼1
	微分積分学入門I	1前		2		○								兼1
	微分積分学入門II	1後		2		○								兼1
	物理学I	1前	2			○								兼1
	物理学入門I	1前		2		○								兼1
	化学入門I	1前	2			○								兼1
	小計(7科目)	—	8	6	0		—		0	0	0	0	0	兼7
専門科目	電気数学I	1前	2			○				1				
	基礎数学	1前		1			○							兼1
	電気数学II	1後	2			○			1					
	電磁気学I	1後	2			○				1				
	回路理論I	1後	2			○			1					
	応用力学	1後		2		○								兼1
	プログラミング演習	1後	2			○				1				※演習
	電気数学III	2前	2			○				1				
	電磁気学II	2前	2			○			1					
	電磁気学III	2前	2			○				1				
	回路理論II	2前	2			○				1				
	電気電子計測工学I	2前	2			○			1					
	情報数学	2前		2		○			1					
	電気数学IV	2後	2			○			1					
	電磁気学IV	2後	2			○				1				
	回路理論III	2後	2			○			1					
	回路理論IV	2後	2			○				1				
	電子回路I	2後	2			○				1				
	電気基礎実験	2後	1.5					○				3		
	確率及び統計	2・3後		2		○								兼1
	電気電子計測工学II	2・3後		2		○			1					
	電子計算機I	3前		2		○			1					
	プログラミング応用	3前		2		○				1				
	電気電子システム工学実験	3前	1.5					○				3		
	電気電子システム工学専門実験	3後	2					○				3		
	セミナー	4通	2					○	10	9		6		
	卒業研究	4通	6					○	10	9		6		
	技術者の倫理	3・4前・後		2		○			1					
	職業指導	3・4前・後		2		○								兼1
	総合演習C	3・4前・後		2		○								
	電気機器I	2後		2		○			1					
	エネルギー変換工学	3・4前		2		○			1					
	電力工学I	3・4前		2		○			1					
電気電子材料	3・4前		2		○				1					
電気法規及び施設管理	3・4前		1		○								兼1	
電気応用工学	3・4後		2		○				1					
電子デバイス工学I	2・3後		2		○			1						
電子物性工学I	3・4前		2		○			1						
量子力学I	3・4前		2		○			1						
電子回路II	3・4前		2		○				1					
電子デバイス工学II	3・4後		2		○			1						
電子回路III	3・4後		2		○			1						

専門科目	電磁波工学	3・4前		2		○			1				
	光伝送工学	3・4前		2		○		1					
	通信工学Ⅰ	3後		2		○		1					
	制御工学Ⅰ	3・4前		2		○			1				
	制御工学Ⅱ	3・4後		2		○			1				
	システム工学Ⅰ	3・4後		2		○			1				
小計（48科目）		—	43	54	0	—		10	9	0	6	0	兼5
合計（55科目）		—	51	60	0	—		10	9	0	6	0	兼12
学位又は称号		学士（工学）		学位又は学科の分野			工学関係						

## 教育課程等の概要(事前伺い)

## 環境建設工学科(土木コース)【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○									兼1
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○									兼1
	物理学I	1前	2			○									兼1
	物理学II	1後	2			○									兼1
	物理学実験	1前	1					○							兼1
	小計(5科目)	—	9	0	0	—									兼5
工学共通科目	職業指導	3・4		2		○									兼1
	総合演習B	3・4		2		○			1						
	情報産業論	3・4		2		○			1						
	科学技術史	3・4		2		○			1						
	安全工学	3・4		2		○			1						
	品質管理	3・4		2		○			1						
	工業所有権法	3・4		2		○			1						
	経営工学概論	3・4		2		○									兼1
	産業社会学原論I	3・4		2		○									兼7 オムニバス
	産業社会学原論II	3・4		2		○			1						オムニバス
	企業研修	3前		2				○	1						
	企業実習	3前		2				○	1						
	Frontiers of Engineering	1・2・3・4後		2		○			1						オムニバス
小計(13科目)	—	0	26	0	—			10						兼9	
専門科目	基礎力学	1前	2			○				1					
	土木工学概論	1前	2			○			5	5		3			オムニバス
	線形代数学A	1前	2			○			1						
	基礎流体力学	1後		2		○			1			1			
	土木基礎情報処理	1後	1			○			1			1			
	常微分方程式A	1後	2			○				1					
	材料力学及び演習	1後	3			○			1						※演習
	確立及び統計	1後		2		○				1					
	構造力学I及び演習	2前	3			○			1						※演習
	島嶼環境計画	2前		2		○			1						
	水理学I及び演習	2前	3			○			1			1			※演習
	偏微分方程式	2前	2			○			1			1			
	測量学I	2前	2			○				1					
	測量学実習I	2前	1.5				○		1						
	土木行政	2前		2		○			1						
	土木計画数理及び演習	2後	3			○			1			1			※演習
	土木設計製図	2後		1.5		○				1					
	構造力学II及び演習	2後	3			○				1					※演習
	土木材料	2後	2			○			1						
	水理学II及び演習	2後	3			○			1			1			※演習
	土質力学I及び演習	2後	3			○				1					※演習
	土木情報処理	2後	2			○			1			1			
	複素関数論	2後		2		○									兼1
	測量力学II	2後		2		○			1						
	測量力学実習II	2後		1.5			○		1						
	土木計画	3前	2			○			1						
	鋼構造工学	3前	2			○				1					
コンクリート構造力学	3前	2			○				1						
海岸工学	3前	2			○			1							
土質力学II及び演習	3前	3			○				1					※演習	

専 門 科 目	環境システム	3前	2	○		1			1				
	構造景観設計	3前	2	○		1							集中
	計算力学	3前	2	○		1							
	コンクリート工学実験	3前	1.5		○		1						
	土木現業実習 I	3前	1		○	1							
	土木現業実習 II	3前	2		○	1							
	土木技術者倫理	3後	2		○	5							オムニバス
	シビルエンジニアリングデザイン	3後	1		○	1	1		1				
	道路交通計画	3後	2		○				1				
	環境衛生工学	3後	2		○								兼1
	橋設計論	3後	2		○	1							
	設計演習 I	3後	2			○		1					
	設計演習 II	3後	2			○		1					
	河川工学	3後	2		○			1					
	地盤工学	3後	2		○			1					
	岩盤力学	3後	2		○			1					
	港湾工学	3後	2		○		1						
	土木施工	3後	2		○		1						※演習
	土質工学実験A	3前	1.5			○		1		1			
	水工学実験	3前	1.5			○	1				1		
	火薬学	4前	2		○			1					
	土木セミナー	4前	1		○		5	5		3			
	環境エネルギー計画	3前		2	○					1			兼1
	建築法規	3後		2	○					1			兼1
	環境情報システム	4前		2	○						1		兼1
	特別講義 I	2・3・4		2	○		1	1					集中
	特別講義 III	2・3・4		2	○								兼1 集中
	特別講義 V	2・3・4		2	○								兼1 集中
	特別講義 VII	2・3・4		2	○								兼1 集中
	特別講義 IX	2・3・4		2	○								兼1 集中
	特別講義 X I	2・3・4		1	○								兼1 集中
	特別講義 X III	2・3・4		1	○								兼1 集中
	特別講義 X V	2・3・4		1	○								兼1 集中
	特別講義 X VII	2・3・4		1	○								兼1 集中
	特別講義 X IX	2・3・4		1	○								兼1 集中
特別講義 II	2・3・4		2	○		1	1					集中	
特別講義 IV	2・3・4		2	○								兼1 集中	
特別講義 VI	2・3・4		2	○								兼1 集中	
特別講義 VIII	2・3・4		2	○								兼1 集中	
特別講義 X	2・3・4		1	○								兼1 集中	
特別講義 X II	2・3・4		1	○								兼1 集中	
特別講義 X IV	2・3・4		1	○								兼1 集中	
特別講義 X VI	2・3・4		1	○								兼1 集中	
特別講義 X VIII	2・3・4		1	○								兼1 集中	
特別講義 X X	2・3・4		1	○								兼1 集中	
卒業研究	4通	6			○	5	5		3				
小計 (75科目)		59.5	65.5	21	—	5	5	0	3	0		兼23	
合計 (95科目)		68.5	91.5	21	—	10	5	0	3	0		兼37	
学位又は称号	学士 (工学)	学位又は学科の分野			工学関係								

教育課程等の概要(事前伺い)															
環境建設工学科(建築コース)【既設】															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前	2			○									兼1
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後	2			○									兼1
	微分積分学入門I	1前		2		○									兼1
	微分積分学入門II	1後		2		○									兼1
	物理学I	1前	2			○									兼1
	物理学II	1後	2			○									兼1
	物理学実験	1後	1					○							兼1
	化学I	1前	2			○									兼1
	化学II	1後	2			○									兼1
	化学入門I	1前		2		○									兼1
	化学入門II	1後		2		○									兼1
	化学実験	1後	1					○							兼1
	小計(12科目)		—	14	4	0	—								兼12
工学共通科目	職業指導	3・4		2		○									兼1
	総合演習B	3・4		2		○			1						
	情報産業論	3・4		2		○			1						
	科学技術史	3・4		2		○			1						
	安全工学	3・4		2		○			1						
	品質管理	3・4		2		○			1						
	工業所有権法	3・4		2		○			1						
	経営工学概論	3・4		2		○									兼1
	産業社会学原論I	3・4		2		○									兼7
	産業社会学原論II	3・4		2		○			1						オムニバス
	企業研修	3前		2				○	1						オムニバス
	企業実習	3前		2				○	1						オムニバス
	Frontiers of Engineering	1・2・3・4後		2		○			1						オムニバス
小計(13科目)		—	0	26	0	—		10						兼9	
専門科目	線形代数学B	1前	2			○			1						
	常微分方程式B	1後	2			○			1						
	確率及び統計	1後		2		○				1					
	建築構造力学I	1前	3			○				1		1			※演習
	建築基礎情報処理	1前	1				○		1			2			
	建築学基礎演習	1前	1				○		5	5					オムニバス
	建築構造力学II	1後	3			○				1					※演習
	基礎流体力学	1後		2		○			1						兼1
	建築情報処理	1後	2				○			1					
	建築設計製図基礎I	2前	2				○		1	1		1			兼1
	建築計画概論	2前	2			○				1					
	都市計画	2前	2			○			1	1					
	建築材料学	2前	2			○			1						
	鉄筋コンクリート構造	2後	2			○				1					
	測量学	2前		2		○				1					
	測量学実習	2前		1.5				○							兼1
	建築設計製図基礎II	2後	3				○		1	1		1			兼1
	建築史概論	2後	2			○			1						
	住空間計画	2後	2			○			1						
	建築環境工学I	2後	2			○				1					
	防災工学概論	2後	2			○				1					
環境材料学	2後	2			○			1							
各種建築計画	2後		2		○			1							

専門科目	建築構法	2後	2	○			1				
	建築設備計画	3前	2	○			1				
	建築環境工学Ⅱ	3前	2	○			1				
	鉄骨構造	3前	2	○				1			
	建築環境工学実験	3前	1			○	1		1		選必
	建築生産	3前	2	○			1				兼1
	建築設計製図Ⅰ	3前	3		○		1	1			兼1
	建築法規	3後	2	○			1				兼1
	建築環境工学演習	3後	1			○		1			
	建築材料構造実験	3後	1				○			1	兼1 選必
	建築設計製図Ⅱ	3後	2			○		1	1	1	兼1
	建築基礎構造	3後	2	○					1		
	建築技術者倫理	4前	2	○			5	5			オムニバス
	建築セミナーⅡ	4前	1			○	5	5		3	
	建築意匠	3前	2	○			1				
	建築構造力学Ⅲ	2前	3	○			1			1	※演習
	コミュニティ空間計画	3前	2	○			1				
	都市デザイン演習	3前	2	○				1			※演習
	建築セミナーⅠ	3後	1			○	5	5		3	
	建築環境設備設計	3後	2	○			1				
	現代建築思潮	3後	2	○					1		
	数理情報処理	3後	2	○			1				※演習
	特別講義Ⅰ	2・3・4	2	○			1	1			集中
	特別講義Ⅲ	2・3・4	2	○							兼1 集中
	特別講義Ⅴ	2・3・4	2	○							兼1 集中
	特別講義Ⅶ	2・3・4	2	○							兼1 集中
	特別講義Ⅸ	2・3・4	2	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅠ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅢ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅤ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅦ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅨ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	都市計画法制	3後	2	○					1		
	耐震設計概論	3後	2	○					1		
	環境情報システム	4前	2	○						1	
	特別講義Ⅱ	2・3・4	2	○			1	1			集中
	特別講義Ⅳ	2・3・4	2	○							兼1 集中
	特別講義Ⅵ	2・3・4	2	○							兼1 集中
	特別講義Ⅷ	2・3・4	2	○							兼1 集中
	特別講義Ⅹ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅡ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅣ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅥ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅧ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	特別講義ⅩⅩ	2・3・4	1	○							兼1 集中
	島嶼環境計画論	2前	2	○							
環境システム	3前	2	○								
環境衛生工学	3後	2	○								
建築構造解析	3前	2	○							選必	
建築地盤工学実験	3前	1				○					
環境エネルギー計画	3前	2	○								
偏微分方程式B	2前	2	○								
建築現業実習Ⅰ	3前	2				○					
建築現業実習Ⅱ	3前	1				○					
卒業設計又は卒業研究	4通	6				○					
小計(40科目)		56	66.5	23	—		5	5	3	兼27	
合計(66科目)		70	96.5	23	—		10	5	3	兼48	
学位又は称号	学士(工学)										
学位又は学科の分野	工学関係										

教育課程等の概要(事前伺い)

情報工学科【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1前		2		○									兼1	
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1後		2		○									兼1	
	物理学I	1前	2			○									兼1	
	物理学II	1後	2			○									兼1	
	物理学入門I	1前	2			○									兼1	
	物理学入門II	1後	2			○									兼1	
	物理学実験	1前		2				○							兼1	
	化学I	1前		2		○									兼1	
	化学II	1後		2		○									兼1	
	化学入門I	1前		2		○									兼1	
	化学入門II	1後		2		○									兼1	
	化学実験	1後		2				○							兼1	
	小計(8科目)	—		8	16	0	—									兼12
	工学共通科目	総合演習D	3・4前後		2		○			1						兼1
職業指導		4前		2		○										
総合演習A		3・4後		2		○			1							
安全工学		3・4後		2		○			1							
品質工学		3・4前		2		○			1							
工業所有権法		3・4前		2		○			1							
経営工学概論		3・4後		2		○			1							
産業社会学原論I		3・4前		2		○									兼7	
産業社会学原論II		3・4後		2		○			1						オムニバス	
Frontiers of Engineering		1・2・3・4後		2		○			1						オムニバス	
小計(10科目)	—		0	20	0	—			8						兼8	
専門科目	プロジェクト・デザインI	1前	2			○			1						※演習	
	プロジェクト・デザインII	2前	2			○			1						※演習	
	情報社会と情報倫理	1前	2			○			1						※演習	
	キャリア実践	3前	2				○		1							
	線形代数学	1前	2			○			1							
	情報数学I	1後	2			○				1						
	情報数学II	2前	2			○			1							
	数学基礎演習I	1前		2			○									
	数学基礎演習II	1後		2			○									
	工業数学I	1後		2			○								兼1	
	工業数学II	2前		2			○								兼1	
	工業数学III	2後		2			○								兼1	
	確率及び統計	2前	2				○			1						
	情報英語I	3後		2				○			1					
	情報英語II	4前		2				○								
	技術英語プレゼンテーション	4後		2				○		1						
	情報工学実験I	2前	1.5						○		1		1			
	情報工学実験II	2後	1.5						○		1		1			
	情報工学実験III	3前	1.5						○		1		1			
	情報工学実験IV	3後	1.5						○		1		1			
	プログラミングI	1前	2				○				1					
	プログラミングII	1後	2				○				1					
	ソフトウェア演習I	1前	1					○			1					
ソフトウェア演習II	1後	1					○			1						
アルゴリズムとデータ構造	1後	2					○		1							
言語理論とオートマトン	2前		2				○		1							

